

春日市
在宅介護実態調査結果報告書

令和5年4月

春日市

目 次

第1部 調査の概要	1
第2部 調査の結果	3
ご本人（調査対象者）について	3
主な介護者について	32

第 1 部
調査の概要

1 調査の目的

在宅で介護を受けている春日市在住の高齢者の日常生活や介護の状況、介護者の状況等を把握し、今後の高齢者保健福祉行政及び介護保険事業に活かすとともに、「春日市高齢者福祉計画 2024・第9期介護保険事業計画」策定の基礎資料とするため。

2 調査の対象

令和5年2月1日現在、春日市在住の在宅で介護を受けている方の中から無作為抽出した1,100人。

3 調査の方法

郵送による配布・回収

4 調査の期間

令和5年2月16日（木）から令和5年3月10日（金）まで。
ただし、集計は令和5年3月20日（月）までに回収されたものを含んでいる。

5 回収結果

発送数	有効回収数	有効回収率
1,100 通	582 通	52.9%

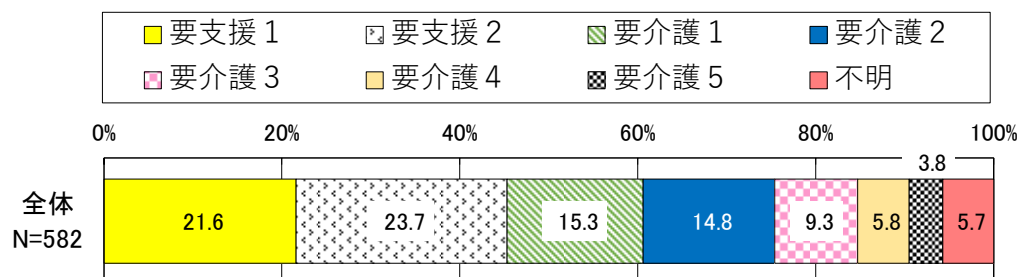
6 報告書の見方

- (1) 回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示しています。小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 複数回答を許した質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることになります。
- (3) 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記しています。
- (4) 図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合があります。

第 2 部
調査の結果

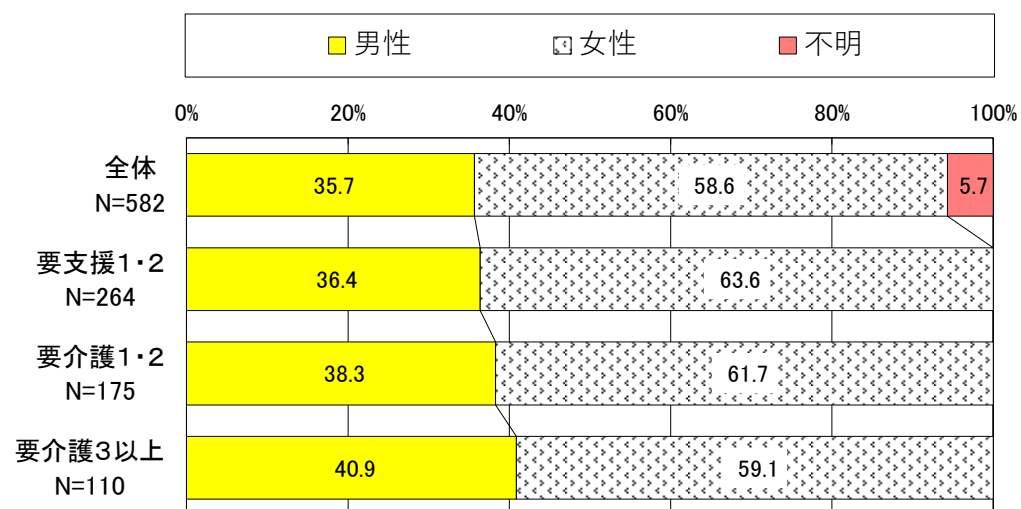
ご本人（調査対象者）について

調査対象者の要介護度



- 調査対象者の要介護度は、「要支援 2」が 23.7%と最も多く、次いで、「要支援 1」が 21.6%、「要介護 1」が 15.3%、「要介護 2」が 14.8%と続いています。

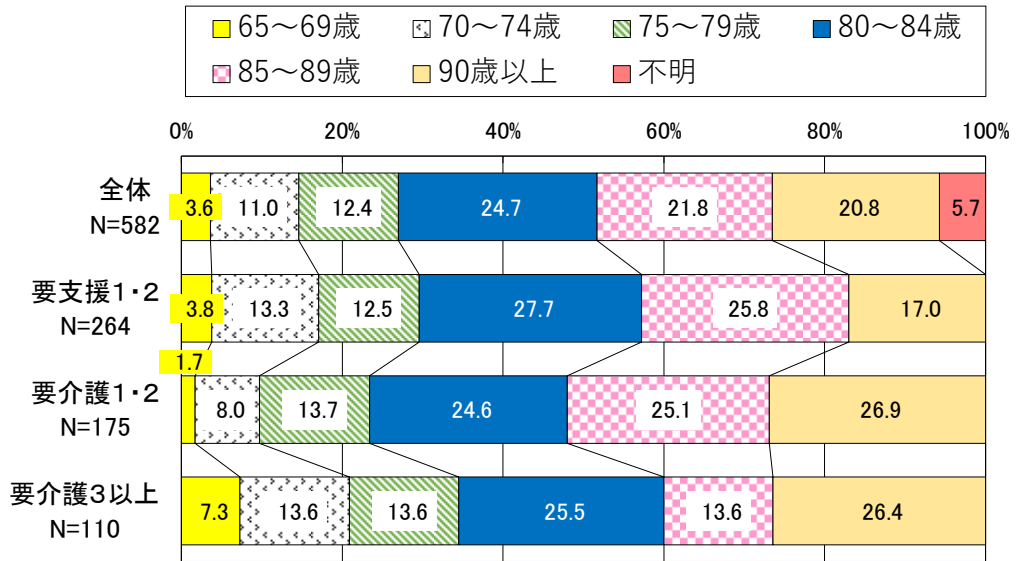
調査対象者の性別



※全体の基数(N)には、属性不明者が含まれるため、内訳の基数(N)の和とは一致しない(以下同じ)。

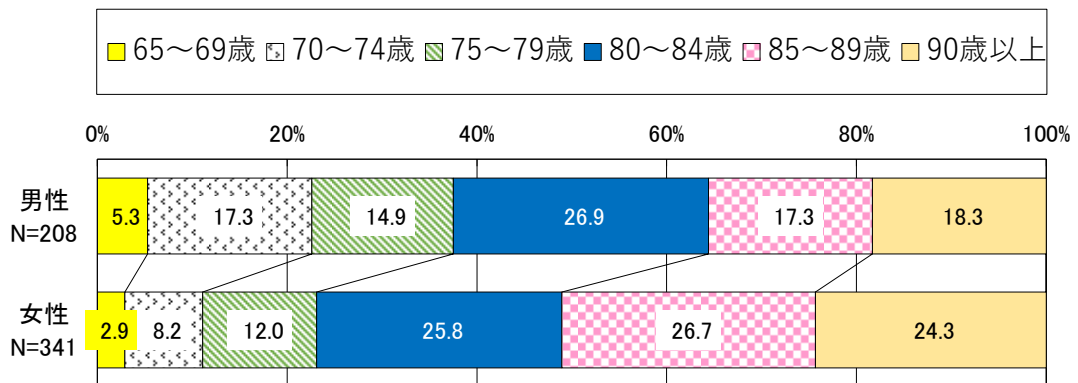
- 調査対象者に占める「男性」の割合は 35.7%、「女性」の割合は 58.6%となっています。

調査対象者の年齢



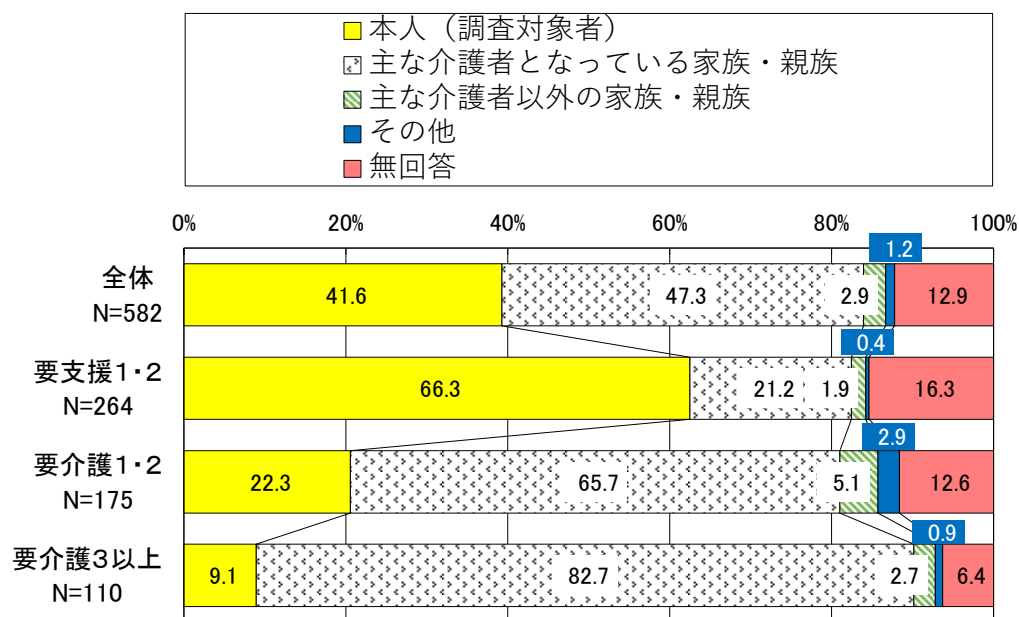
- 調査対象者の年齢階層割合は上のおおりで、「要介護1・2」「要介護3以上」では「90歳以上」の割合が最も高くなっていますが、「要支援1・2」では「80～84歳」の割合が最も高くなっています。

調査対象者の性別×年齢階層



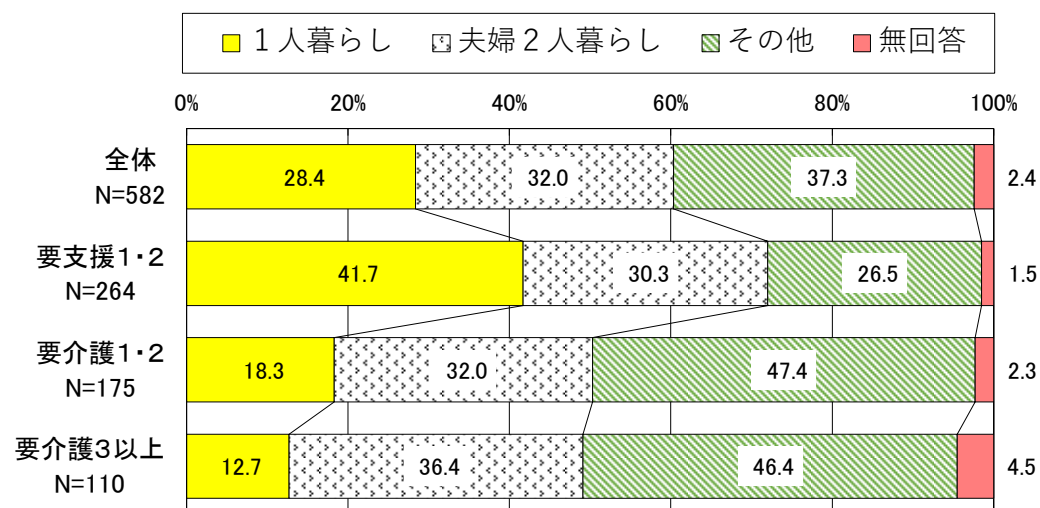
- 女性は男性に比べ85歳以上の割合が高くなっています。

※ この調査票を記入して下さるのはどなたですか（〇はいくつでも可）



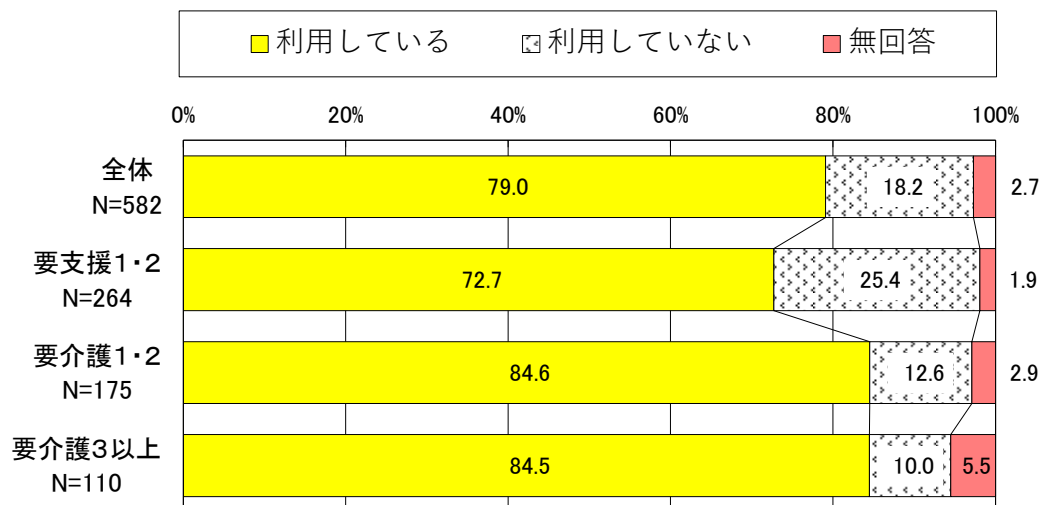
● 「本人（調査対象者）」による回答は全体の41.6%で、要介護度が高くなるにつれて「調査対象者本人」の割合が低くなり、「主な介護者となっている家族・親族」による回答割合が高くなっていきます。

(1) 家族構成について、ご回答ください。（1つに〇）



● 「1人暮らし」と回答した人の割合は全体の28.4%となっていますが、「要支援1・2」では41.7%と高い割合となっており、要介護度が高くなるにつれてその割合は低くなっています。

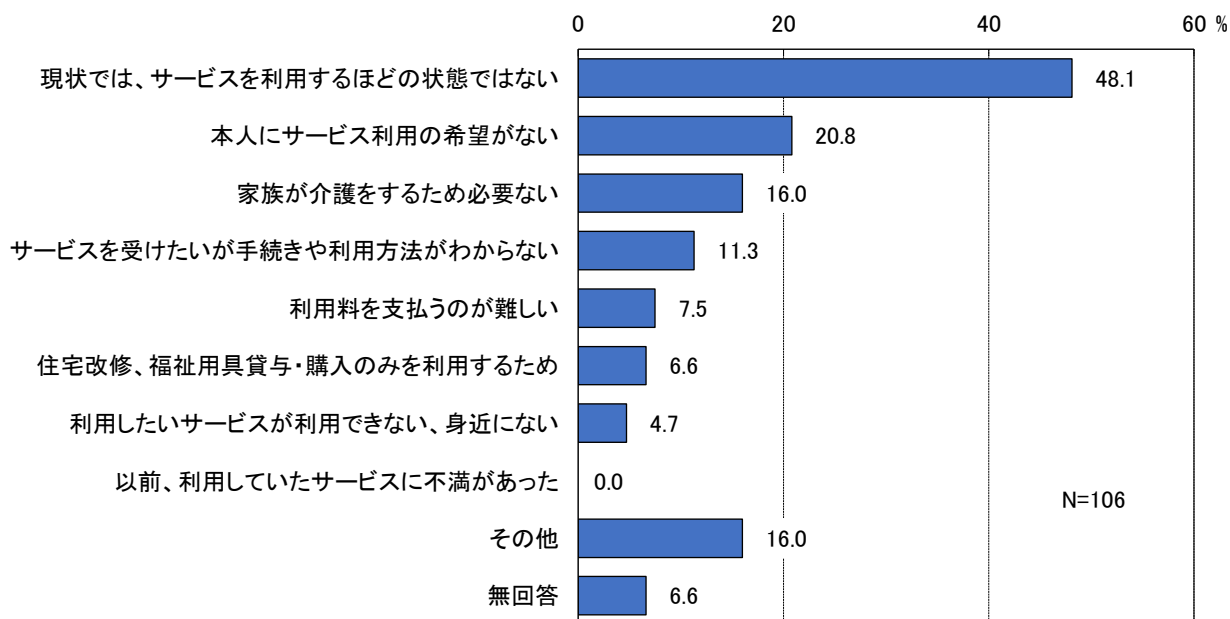
(2) 現在、介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与、福祉用具購入を除く）を利用していますか。
 (1つに○)



- 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを「利用している」と回答した人の割合は全体の79.0%で、「要支援1・2」に比べ「要介護1・2」「要介護3以上」ではその割合が高くなっています。

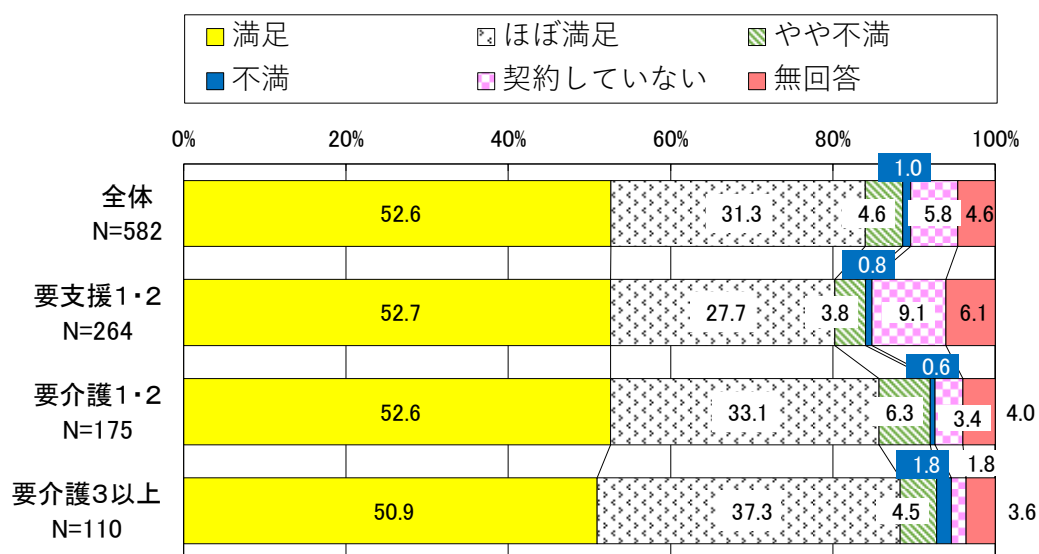
(2) - 1 「2. 利用していない」と答えた方にお聞きします。

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも可)



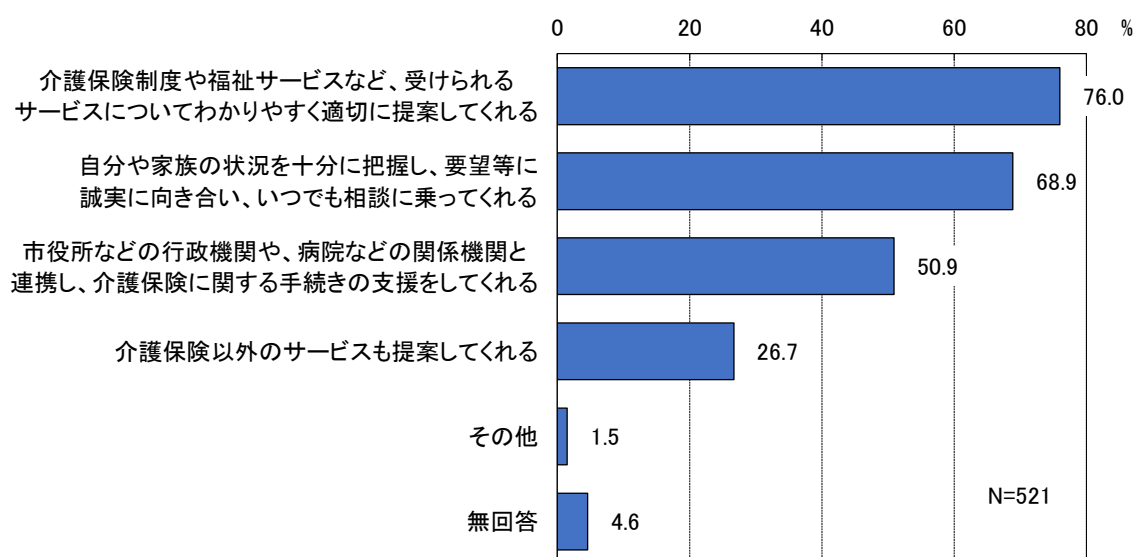
- 介護保険サービスを利用していない理由としては、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(48.1%)、「本人にサービス利用の希望がない」(20.8%)、「家族が介護をするため必要ない」(16.0%) など、そもそもサービス利用の必要性がないという理由が上位を占めています。
- 「その他」の内容としては、「入院中」という回答が多くなっています。

(3) ケアマネジャーの対応に満足していますか。(1つに〇)



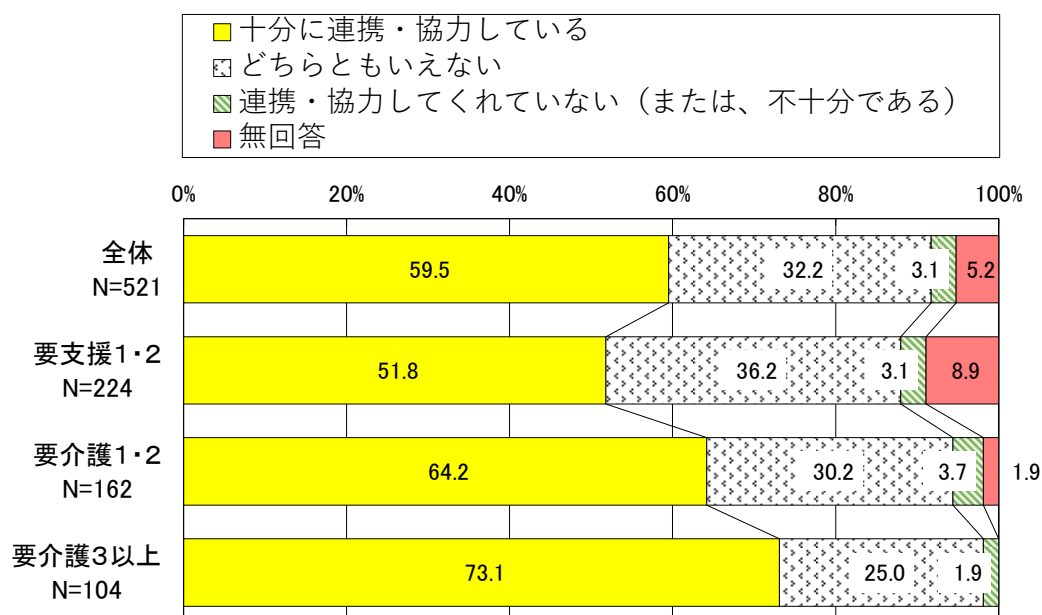
- ケアマネジャーの対応に「満足」「ほぼ満足」と回答した人の割合は全体の83.9%、「やや不満」「不満」と回答した人は5.6%となっています。

(4) あなたは、ケアマネジャーにどのような支援を求めますか。(〇はいくつでも可)



- ケアマネジャーに求める支援としては、「介護保険制度や福祉サービスなど、受けられるサービスについて分かりやすく適切に提案してくれる」が76.0%と最も高い割合となっています。

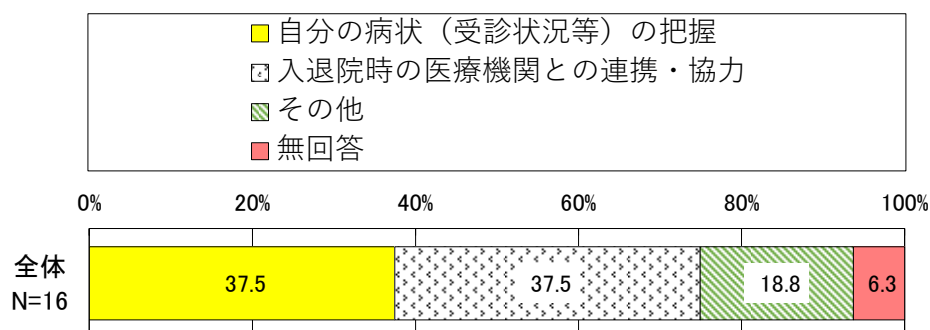
(5) 担当ケアマネジャーは介護だけでなく、あなたの病院の受診状況等を把握し、主治医と連携・協力していますか。(1つに○)



- 担当ケアマネジャーが介護だけでなく、病院の受診状況等を把握し、主治医と「十分に連携・協力している」と回答した人の割合は全体の59.5%となっており、本人の要介護度が高くなるにつれてその割合も高くなっています。
- 「連携・協力してくれていない (または、不十分である)」と回答した人の割合は全体の3.1%となっています。

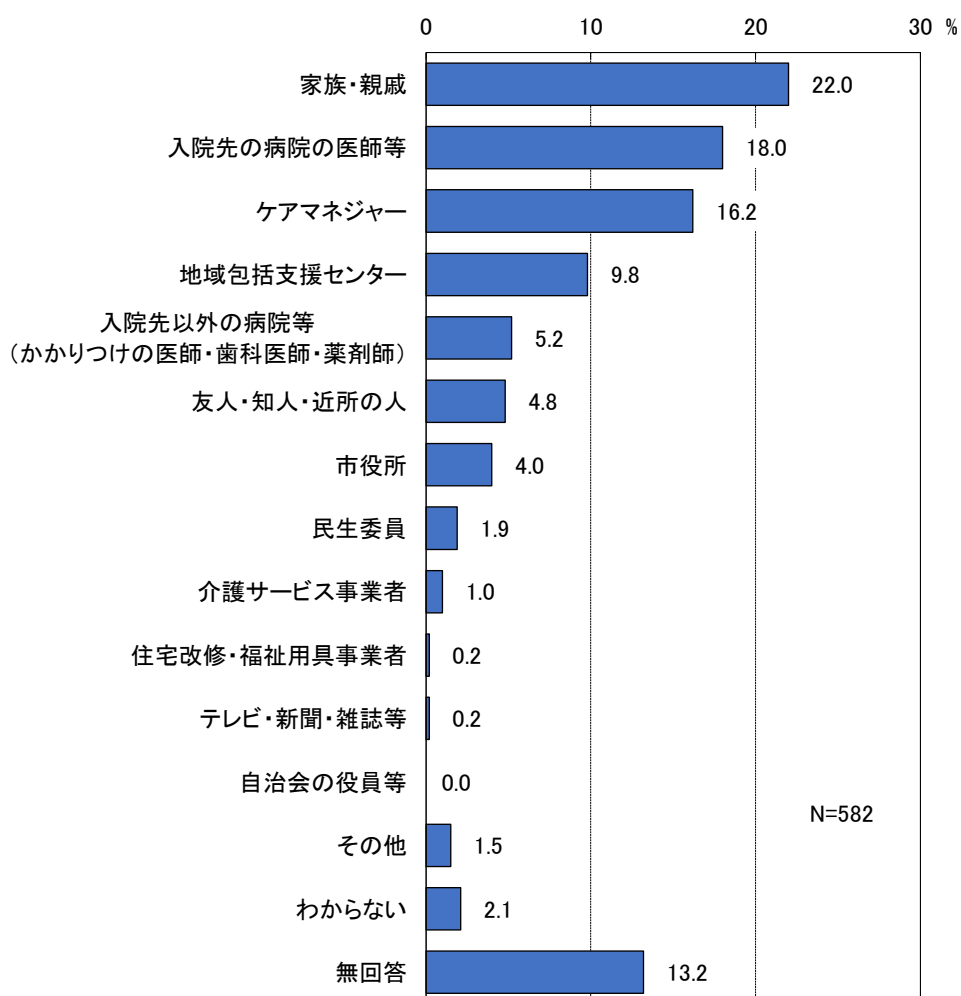
(5) -1 「3. 連携・協力してくれていない (または、不十分である)」と答えた方にお聞きします。

どのような点で連携・協力してくれていない (または、不十分である) と思いますか。(1つに○)



- 前問で「連携・協力してくれていない (または、不十分である)」と回答した人に、その内容を尋ねたところ、「自分の病状 (受診状況等) の把握」「入退院時の医療機関との連携・協力」がともに37.5%となっています。

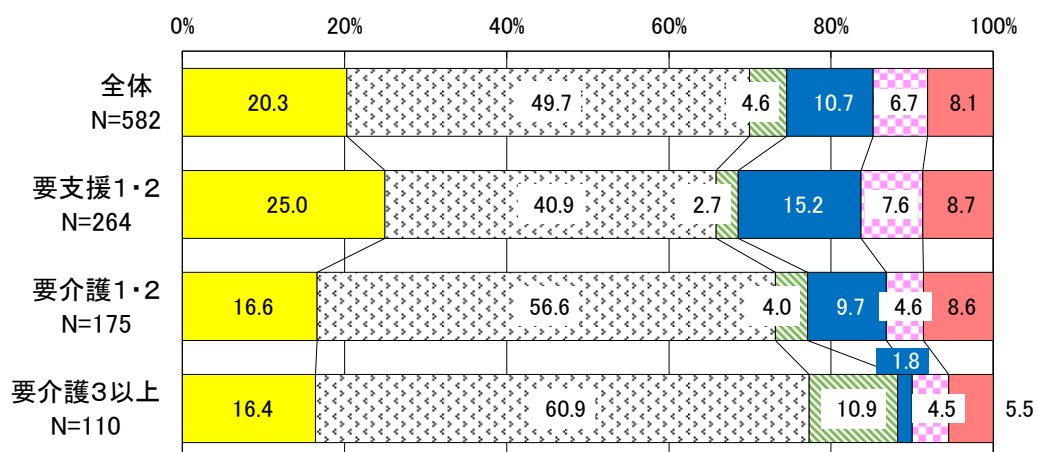
(6) あなたが初めて要介護（要支援）認定を受けたとき、どこ（だれ）から助言や情報提供を受けましたか。（1つに〇）



- 初めて要介護（要支援）認定を受けたときに、助言や情報提供を受けた相手については、「家族・親戚」が22.0%と最も多く、以下、「入院先の病院の医師等」(18.0%)、「ケアマネジャー」(16.2%)、「地域包括支援センター」(9.8%)と続いています。

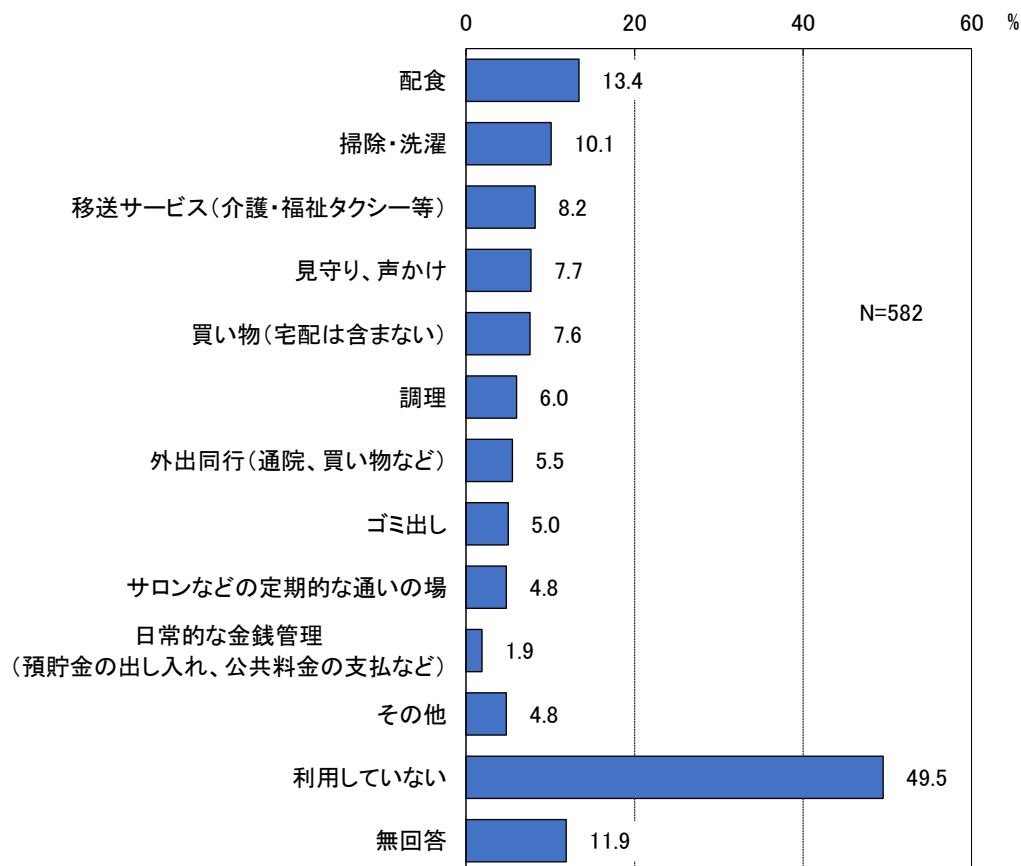
(7) あなたが初めて要介護（要支援）認定を受けたときの主な理由は何ですか。（1つに○）

- 住宅改修、福祉用具貸与、福祉用具購入のサービスのみを受けるため
- ▨ 在宅サービスを受けるため（デイサービス、ホームヘルパーなど）
- ▨ 施設に入所するため
- サービスの利用予定はなかったが、申請をすすめられたので
- その他
- 無回答



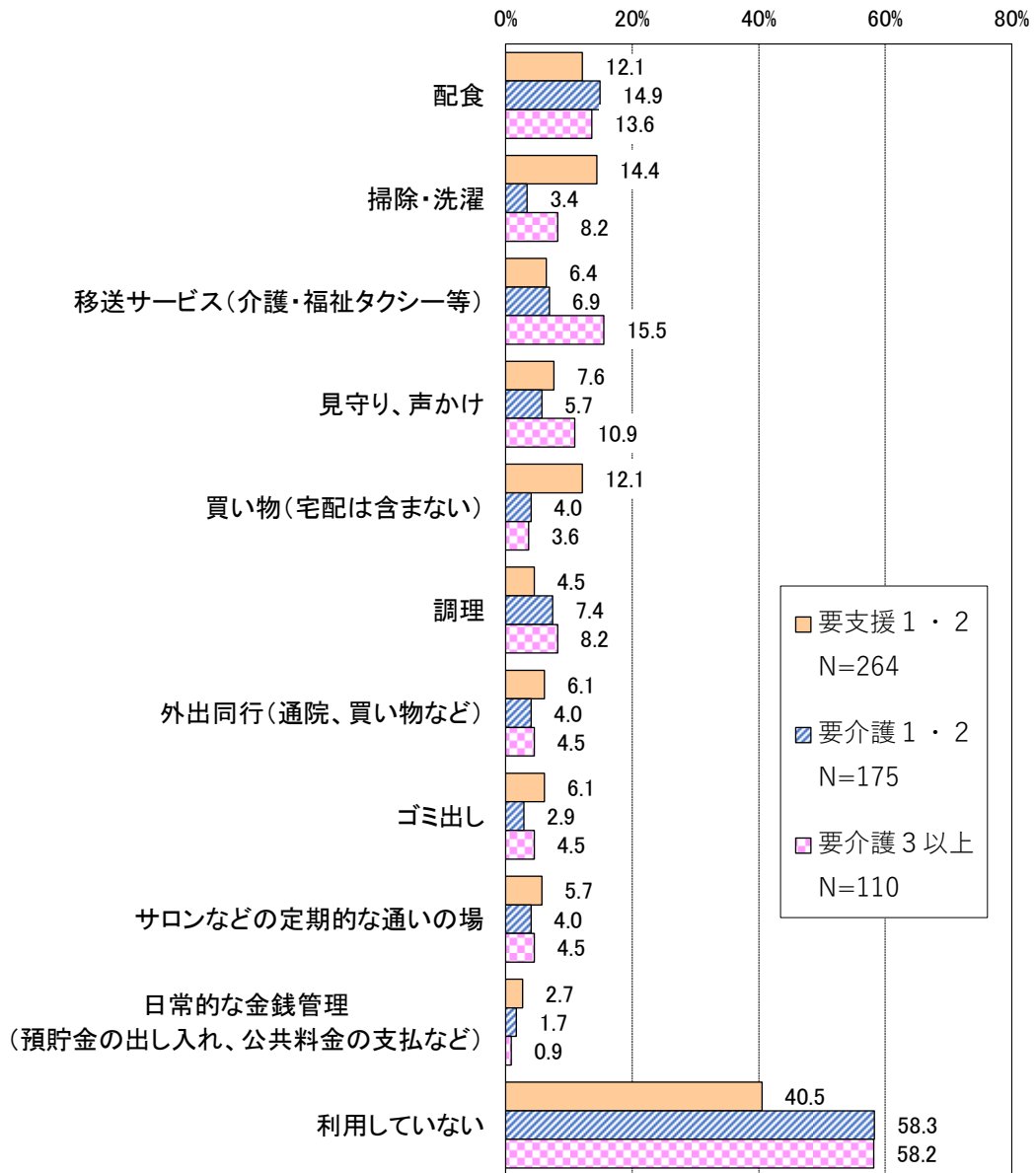
- 初めて要介護（要支援）認定を受けたときの主な理由としては、「在宅サービスを受けるため（デイサービス、ホームヘルパーなど）」が全体の49.7%と最も多く、「住宅改修、福祉用具貸与、福祉用具購入のサービスのみを受けるため」が20.3%で、それに続いています。

(8) 現在、利用している「介護保険サービス」以外の支援・サービスについて、ご回答ください。
(〇はいくつでも可)

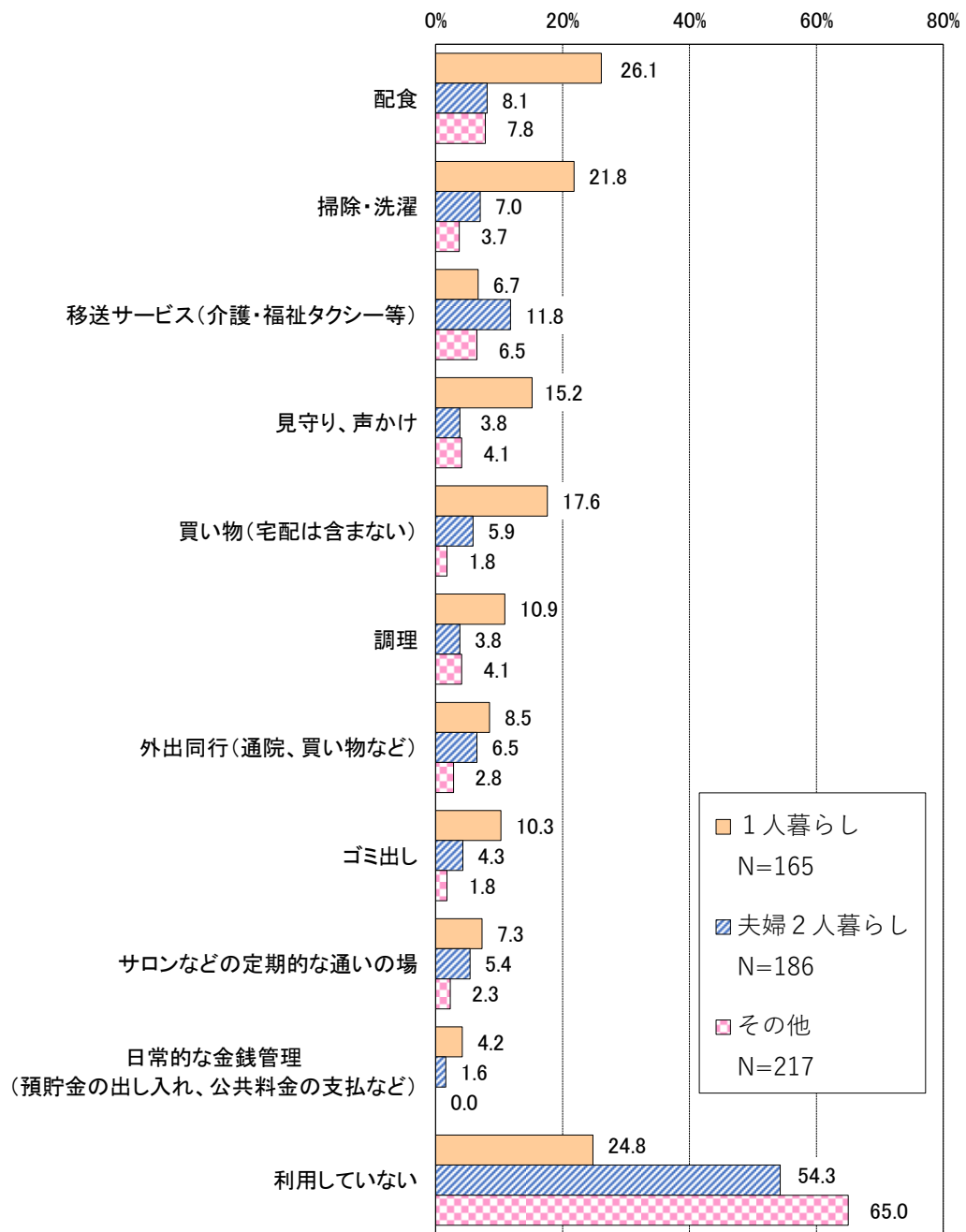


- 介護保険サービス以外の支援・サービスについては、「利用していない」と回答した人の割合が全体の 49.5%を占めていますが、「配食」(13.4%)や「掃除・洗濯」(10.1%)などの利用割合が比較的高くなっています。
- 要介護度別に見ると、「要支援1・2」では「掃除・洗濯」(14.4%)、「要介護1・2」では「配食」(14.9%)、「要介護3以上」では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(15.5%)の割合が高くなっています(次ページ参照)。
- 世帯類型別に見ると、「1人暮らし」は「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」を除くすべてのサービスについて、他の世帯類型に比べ、利用割合が高くなっていることがわかります(次々ページ参照)。

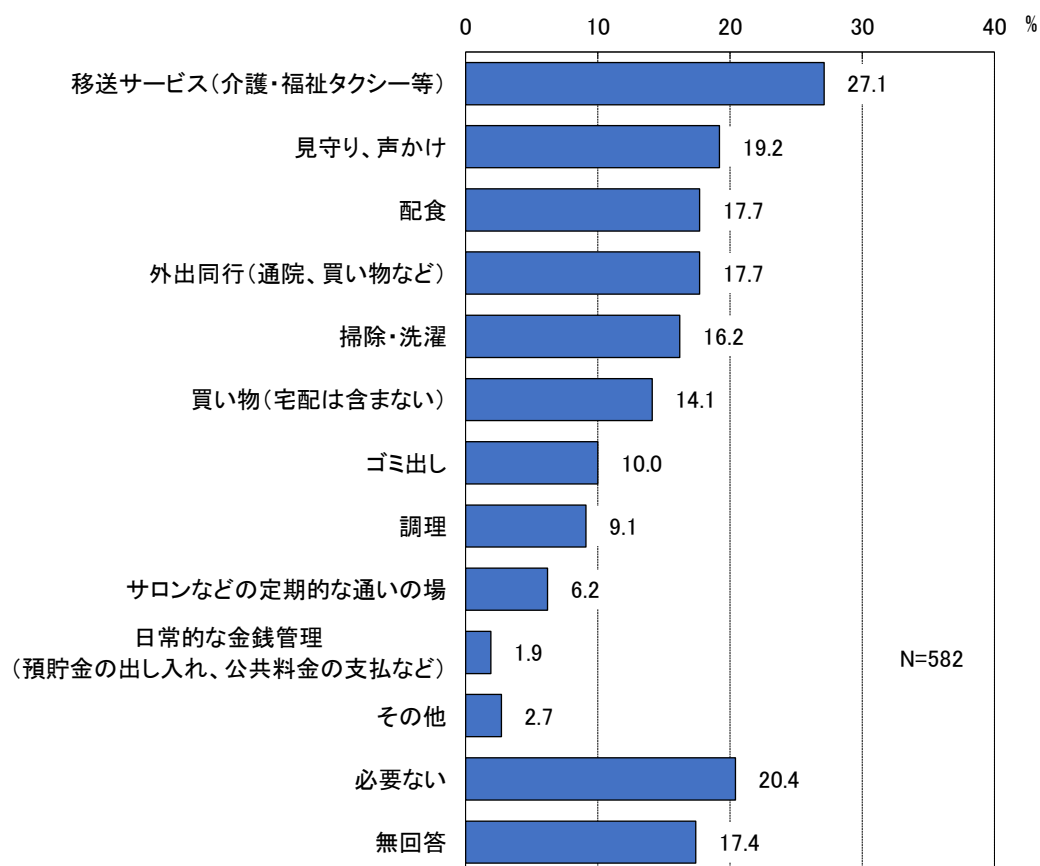
現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス（要介護度別クロス集計結果）



現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス（世帯類型別クロス集計結果）

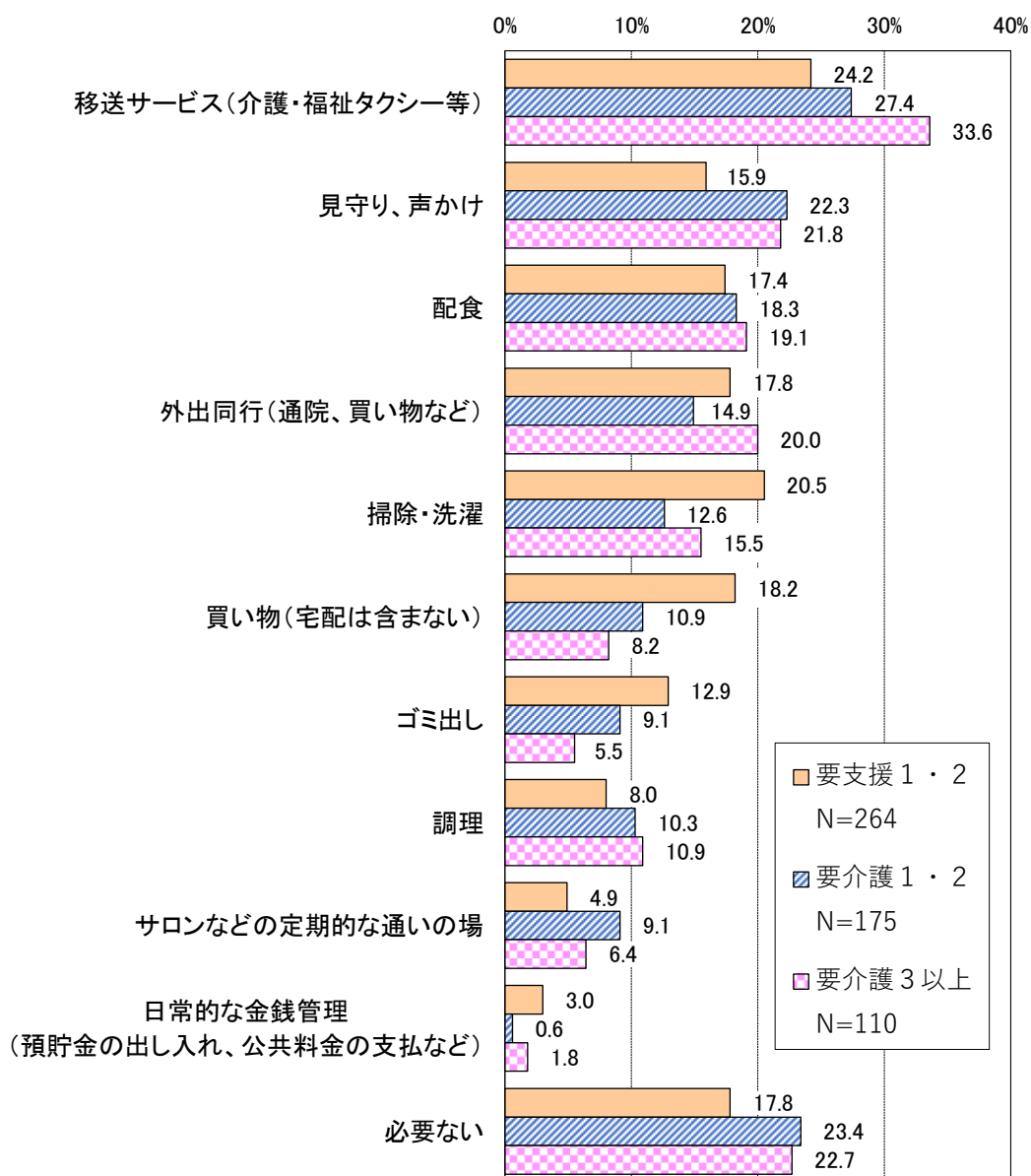


(9) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも可）

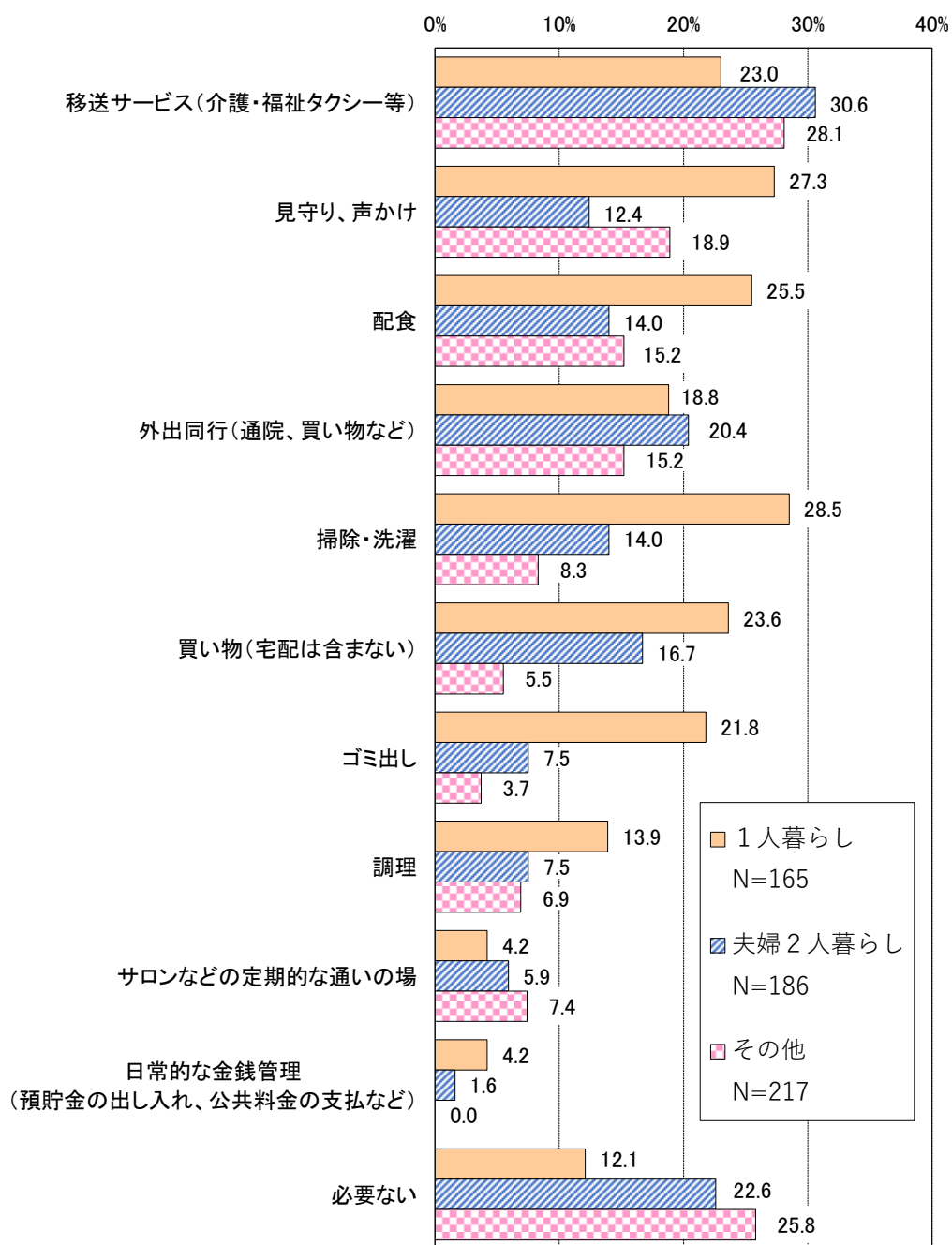


- 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.1%と最も多く、以下、「見守り、声かけ」（19.2%）、「配食」「外出同行（通院、買い物など）」（ともに17.7%）、「掃除・洗濯」（16.2%）、「買い物（宅配は含まない）」（14.1%）と続いています。
- 要介護度別に見ると、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」はすべての区分で最も高い割合となっており、「要支援1・2」では「掃除・洗濯」、「要介護1・2」「要介護3以上」では「見守り、声かけ」がそれに次ぐ割合となっています（次ページ参照）。
- 世帯類型別に見ると、「1人暮らし」では「掃除・洗濯」「見守り・声かけ」を筆頭に、「配食」「買い物」「ゴミ出し」など多くのサービスで、他の世帯類型に比べ回答割合が高くなっています（次々ページ参照）。

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（要介護度別クロス集計結果）

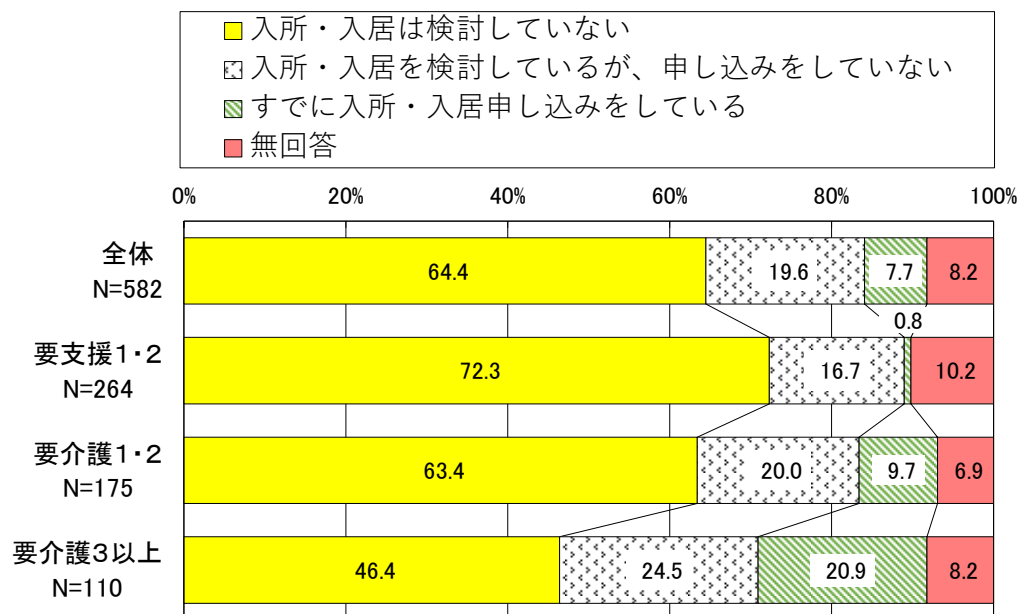


今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（世帯類型別クロス集計結果）



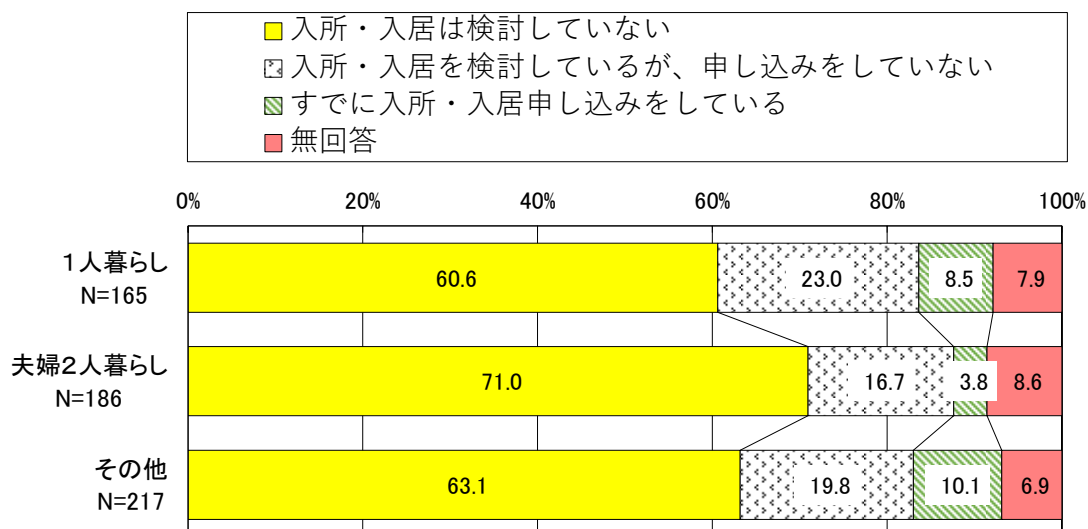
(10) 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つに○)

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。



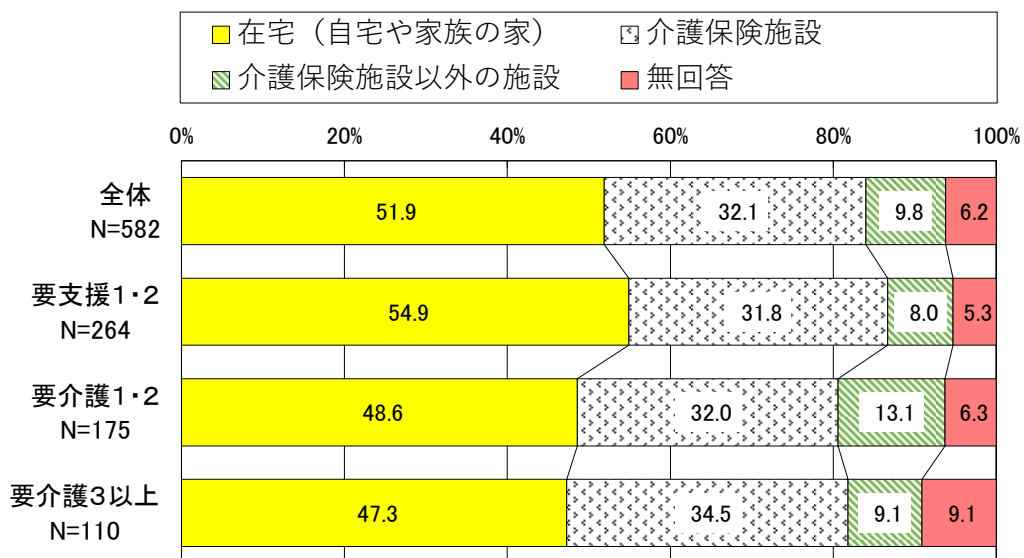
● 全体の 27.3%が「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答しており、特に「要介護3以上」では 45.4%と高い割合となっています。

世帯類型別クロス集計結果



● 世帯類型別に見ると、「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した人の割合が最も高かったのは「1人暮らし」で、「夫婦2人暮らし」が最も低い割合となっています。

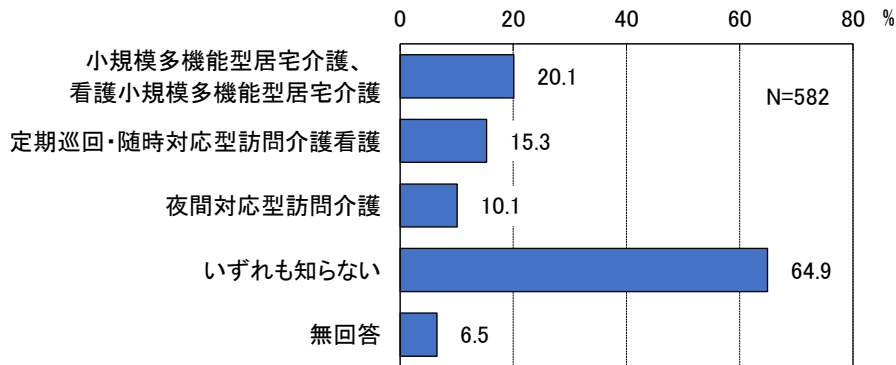
(11) あなたは、今後3年間で、今よりも介護が必要になったら、どこで暮らしたいですか。
(1つに○)



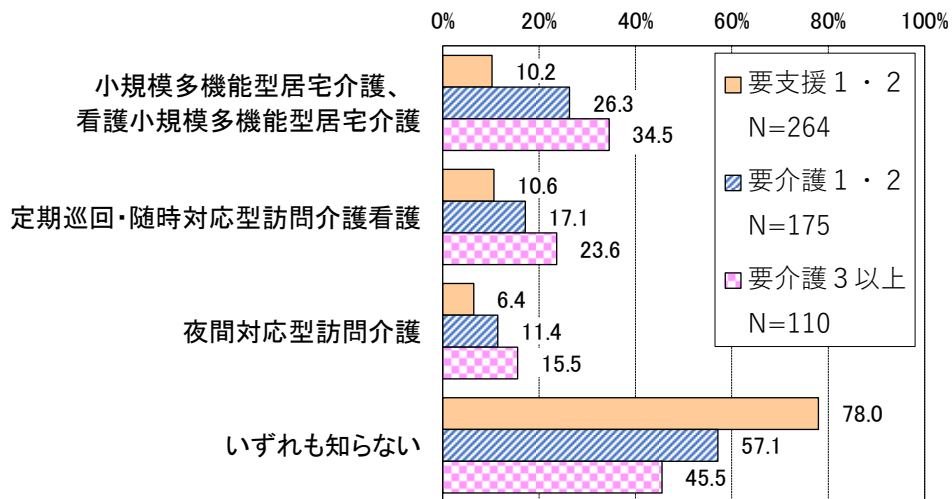
- 今よりも介護が必要になった場合に暮らしたいと思う場所については、「在宅 (自宅や家族の家)」が全体の51.9%と最も多く、次いで「介護保険施設」が32.1%、「介護保険施設以外の施設」が9.8%となっています。

(12) 春日市には、24 時間 365 日在宅での生活を支援するサービス（小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護）を行う事業所があります。

知っているサービスに○をつけてください。（○はいくつでも可）



要介護度別クロス集計結果

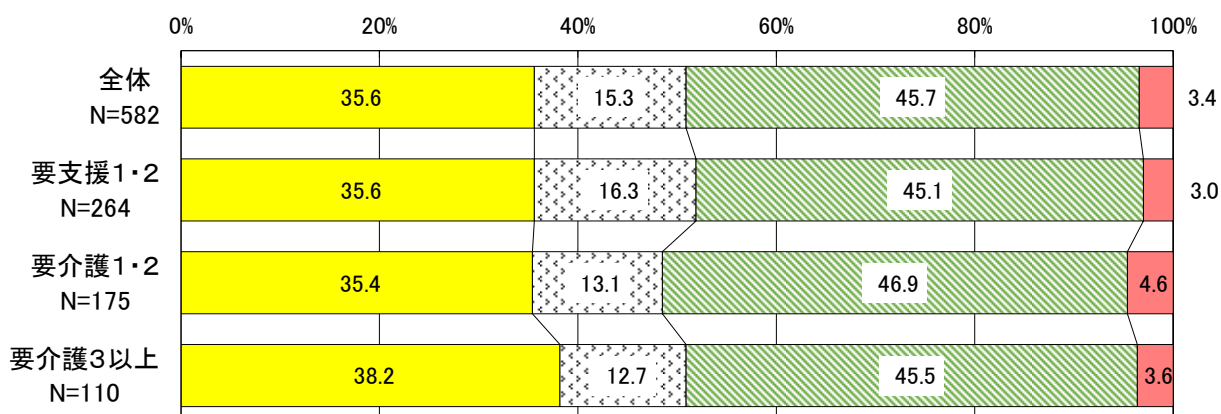


- 24 時間 365 日在宅での生活を支援する 3 つのサービスのうち、認知度が最も高かったのは「小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護」で全体の 20.1%となっていますが、「いずれも知らない」という回答が 64.9%と、ほぼ 3 分の 2 を占めています。
- 要介護度別に見ると、要介護度が高くなるにつれてサービスの認知度も高くなっていることがわかります。

(13) 介護保険のサービス費用の半分は、皆さんの介護保険料でまかなうことになっています。そのため、サービスを利用する人が増えたり、サービスや事業が充実したりすると、介護保険料が高くなります。このような介護保険料のあり方について、あなたはどのように考えますか。

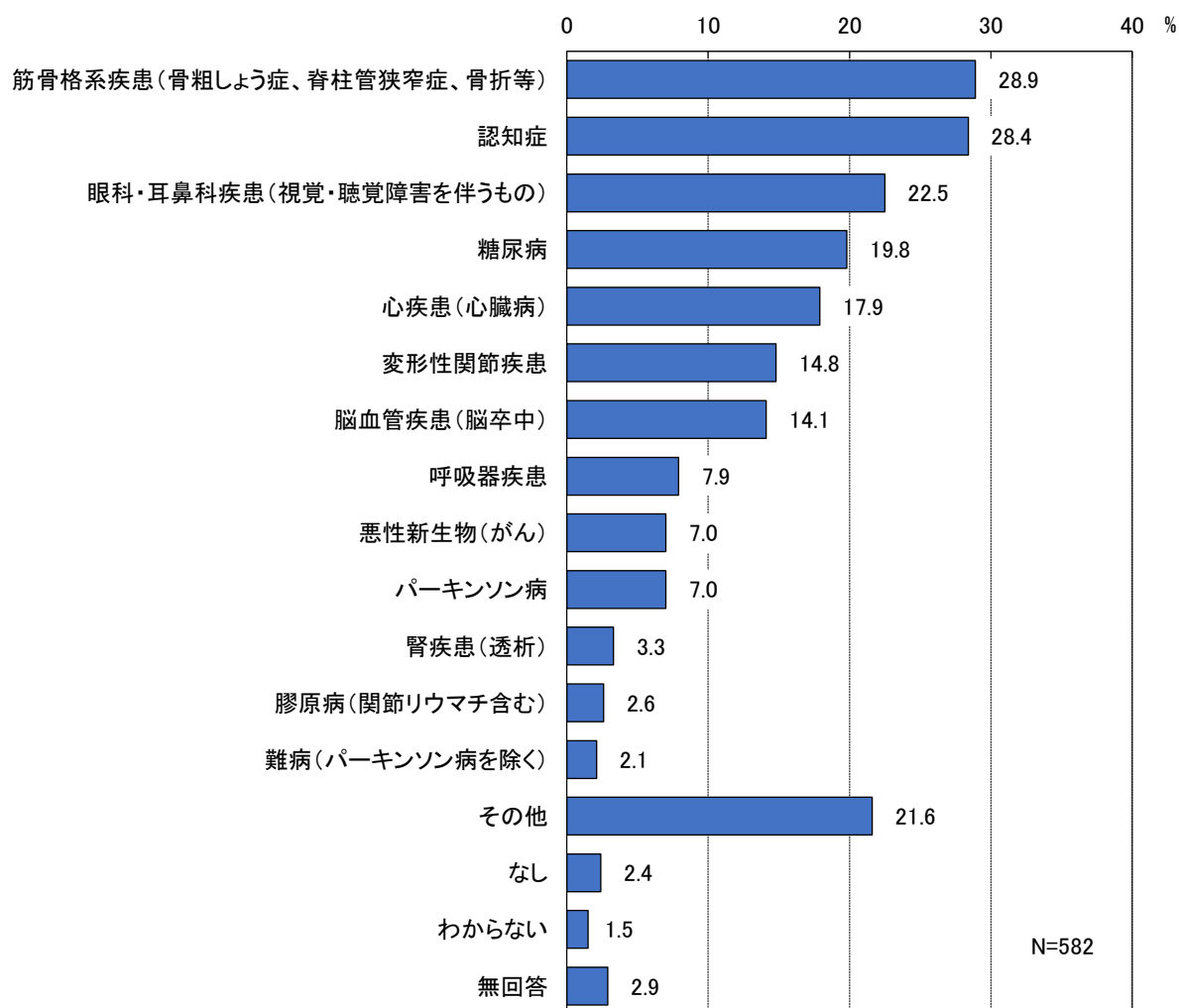
(1つに○)

- サービスや事業が充実するのであれば、保険料がその分高くなってもやむを得ない
- サービスや事業が充実しなくても、保険料は低い方がよい
- ▨ どちらともいえない
- 無回答



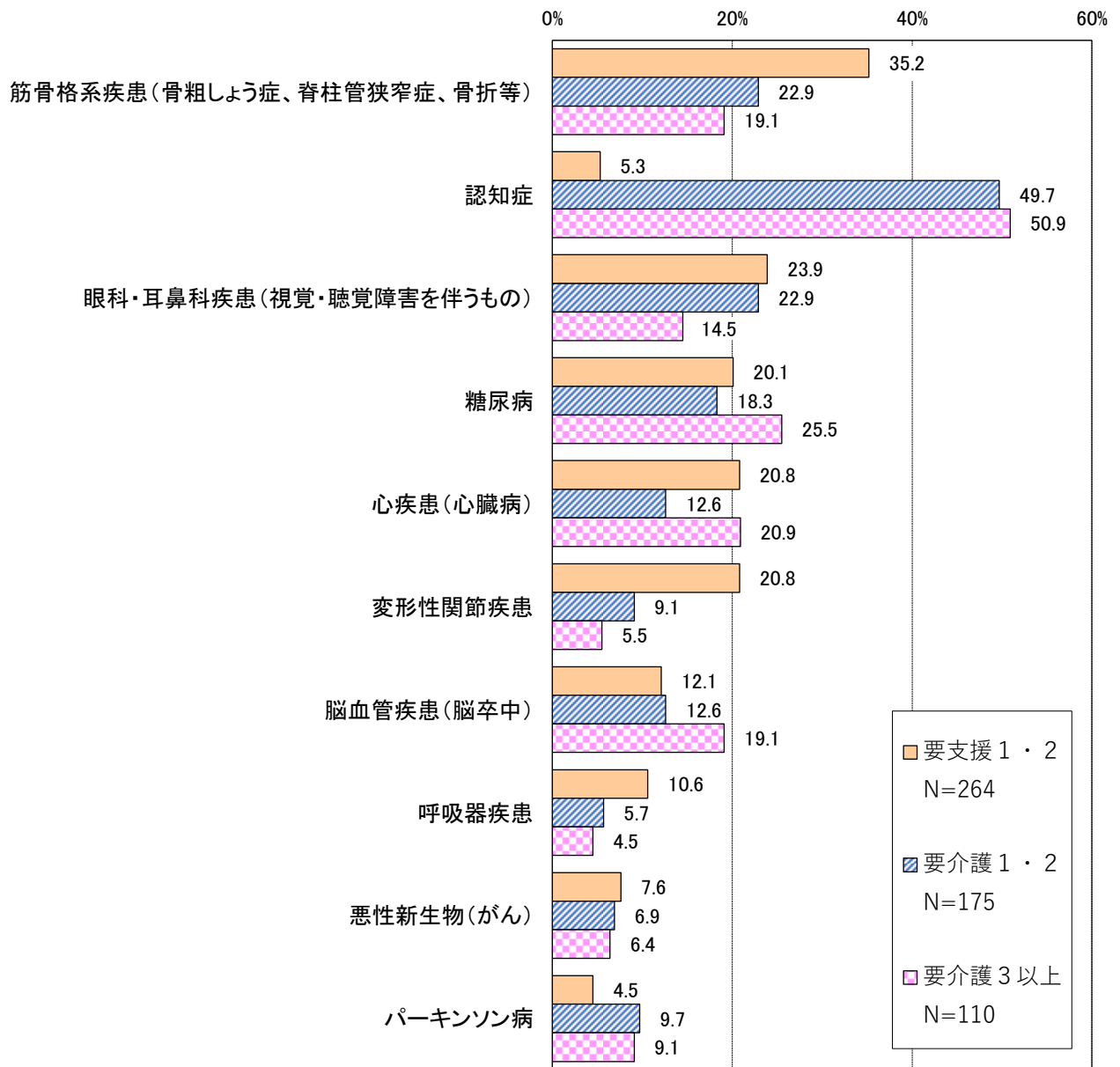
- 保険料とサービスのあり方については、「サービスや事業が充実するのであれば、保険料がその分高くなってもやむを得ない」が全体の 35.6%で、「サービスや事業が充実しなくても、保険料は低い方がよい」という回答割合 (15.3%) を 20.3 ポイント上回っています。

(14) あなたが現在抱えている傷病について、ご回答ください。(〇はいくつでも可)

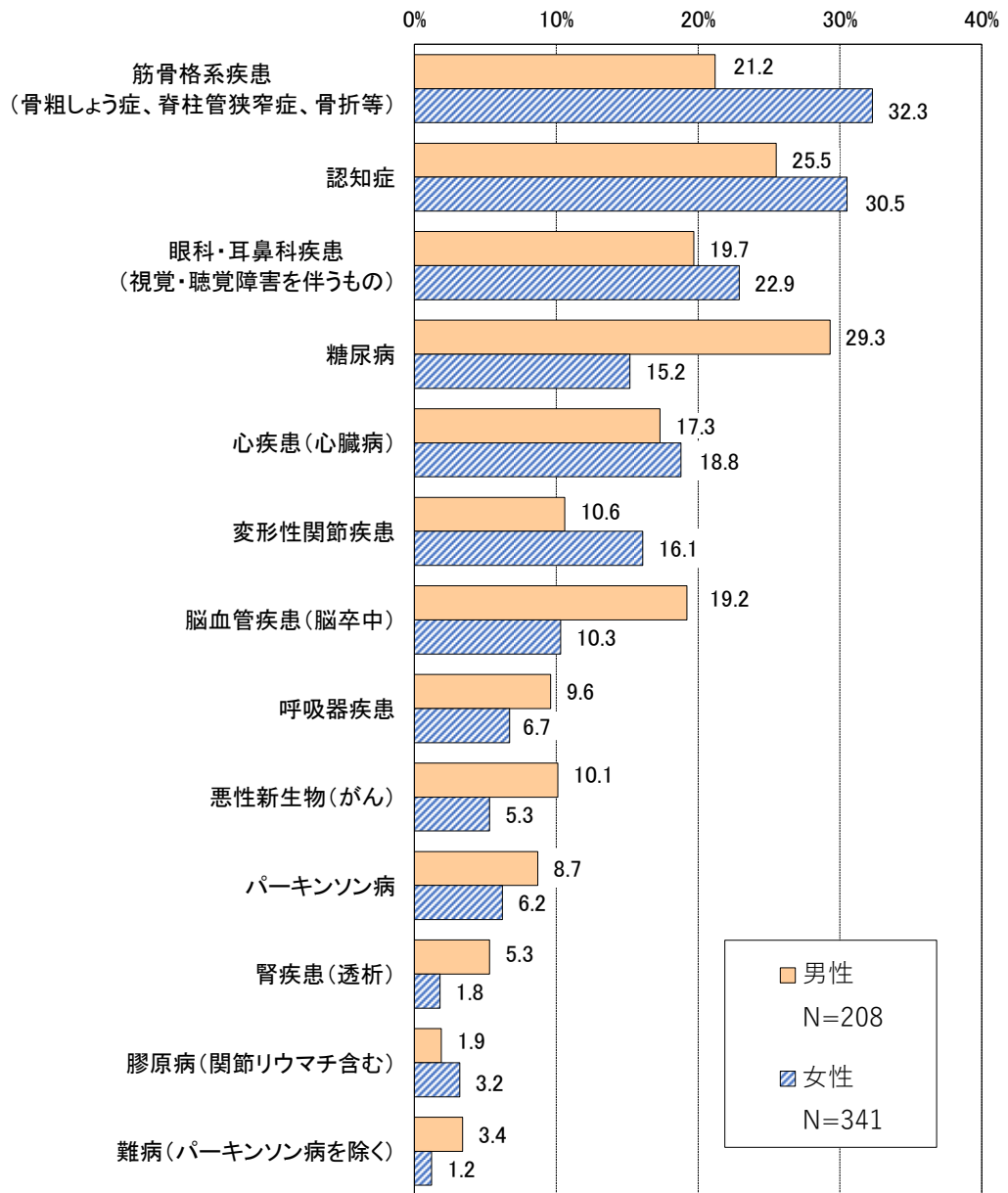


- 現在抱えている傷病については、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症、骨折等)」(28.9%)と「認知症」(28.4%)が多く、以下、「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」(22.5%)、「糖尿病」(19.8%)、「心疾患(心臓病)」(17.9%)と続いています。
- 要介護度別に見ると、要介護1以上では「認知症」の割合がほぼ半数と高い割合になっていますが、「要支援1・2」では「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症、骨折等)」が35.2%と最も高い割合となっています(次ページ参照)。
- 男女別に見て、男性に比べ女性の回答割合が特に高いのは「認知症」「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症、骨折等)」「変形性関節疾患」、女性に比べ男性の回答割合が特に高いのは「糖尿病」「脳血管疾患(脳卒中)」「悪性新生物(がん)」となっています(次々ページ参照)。

現在抱えている傷病（要介護度別クロス集計結果）



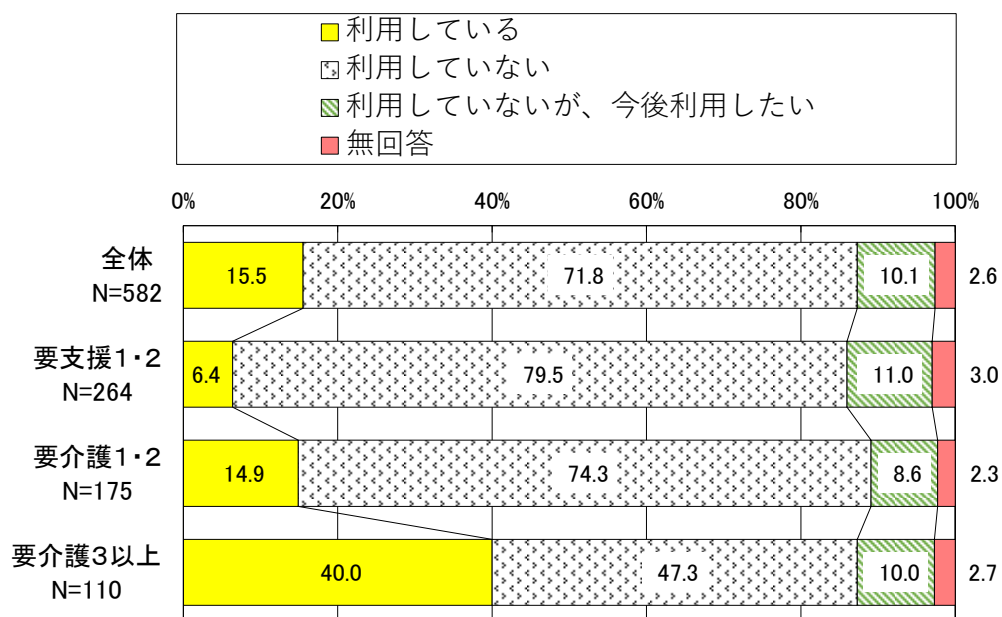
現在抱えている傷病（男女別クロス集計結果）



(15) あなたは、現在、健康保険において、訪問診療*を利用していますか。(1つに○)

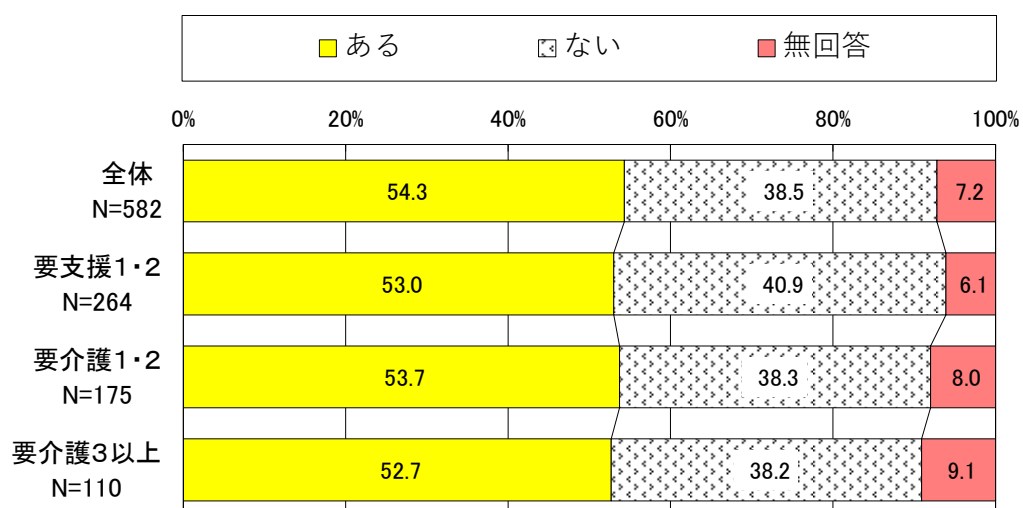
※訪問診療とは、定期的に医師が自宅を訪問して、診察や薬の処方、治療などを行うことです。

訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。



- 現在、訪問診療を「利用している」と回答した人の割合は「要支援1・2」では6.4%、「要介護1・2」では14.9%、「要介護3以上」では40.0%となっています。

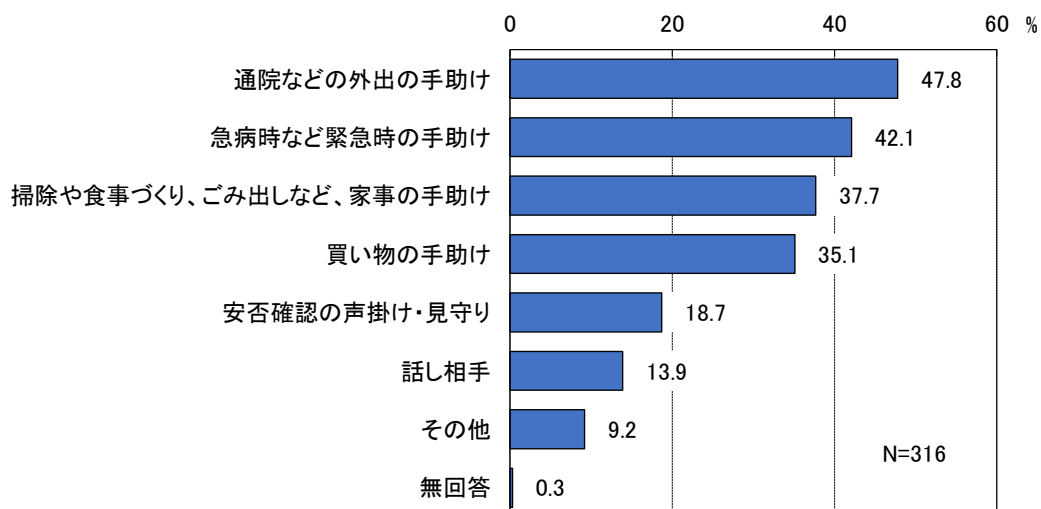
(16) あなたは、誰かの手助けが必要と感じるなど、困っていることはありますか。(1つに○)



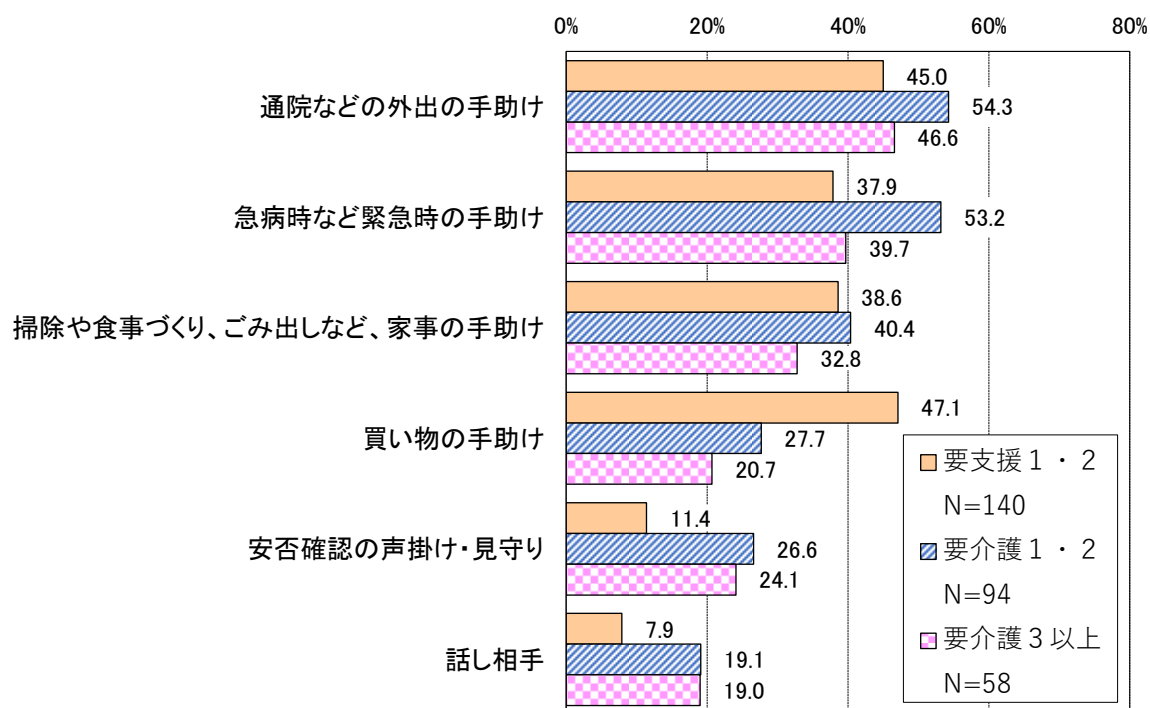
- 誰かの手助けが必要と感じるなど、困っていることが「ある」と回答した人の割合は全体の54.3%となっており、要介護度による差異はほとんど認められない結果となっています。

(16) -1 「1. ある」と答えた方にお聞きします。

どんな手助けが必要か具体的に教えてください。(2つに〇)



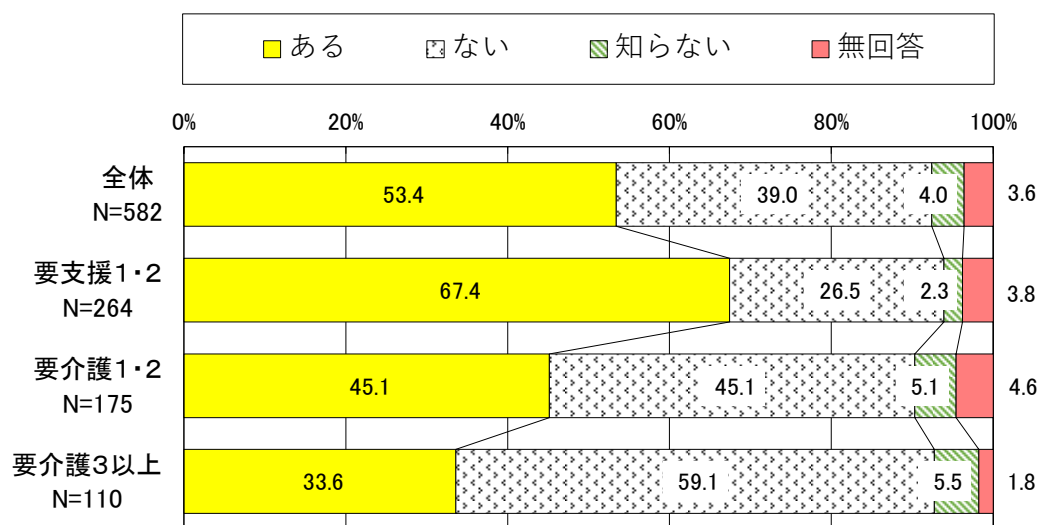
要介護度別クロス集計結果



- 前問で困っていることが「ある」と回答した人に、必要な手助けを尋ねたところ、「通院などの外出の手助け」が全体の47.8%と最も多く、以下、「急病時など緊急時の手助け」(42.1%)、「掃除や食事づくり、ごみ出しなど、家事の手助け」(37.7%)、「買い物の手助け」(35.1%)と続いています。
- 要介護度別に見ると、「要支援1・2」では、「買い物の手助け」が47.1%と最も高い回答割合となっています。

(17) 健康づくり、福祉サービスの紹介、介護・医療に関する悩みや虐待など、生活の困りごとに
 応じる総合相談窓口として、春日市には「地域包括支援センター」が3か所あります。

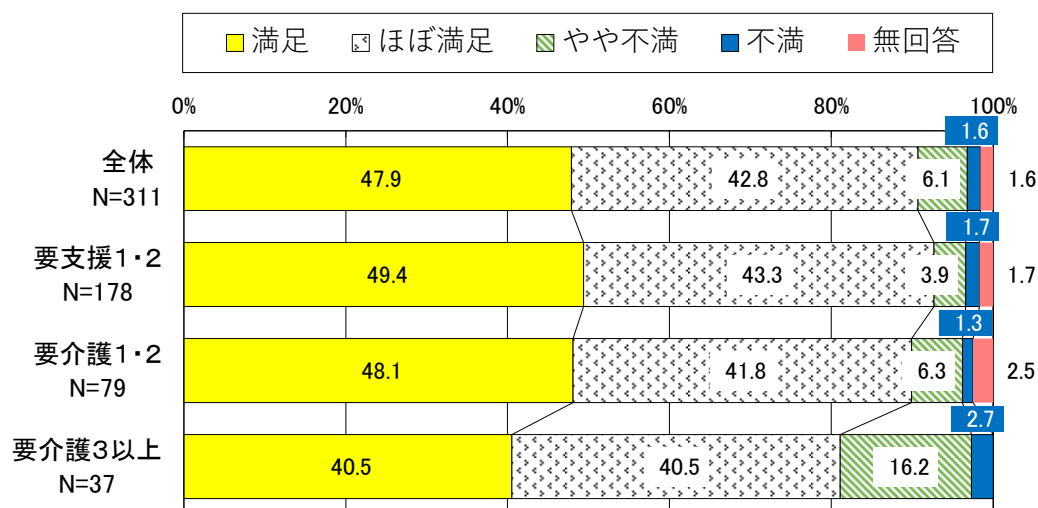
「地域包括支援センター」を利用したことがありますか。(1つに○)



- 「地域包括支援センター」を利用したことが「ある」と回答した人の割合は全体の53.4%となっており、要介護度が高くなるにつれてその割合は低くなっています。

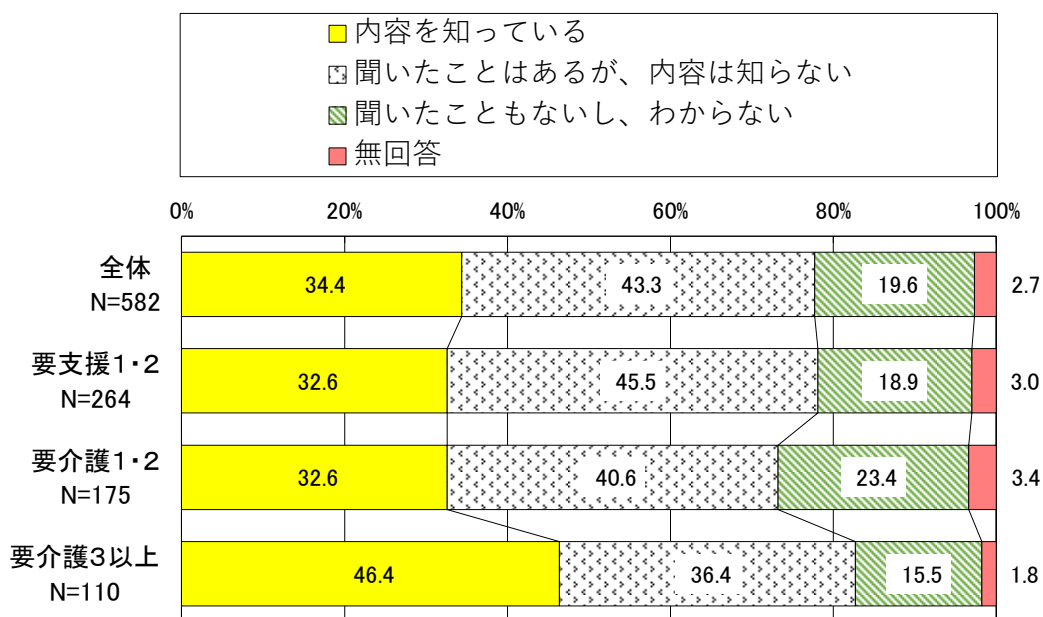
(17) -1 「1. ある」と答えた方にお聞きします。

地域包括支援センターの対応は満足のものでしたか。(1つに○)



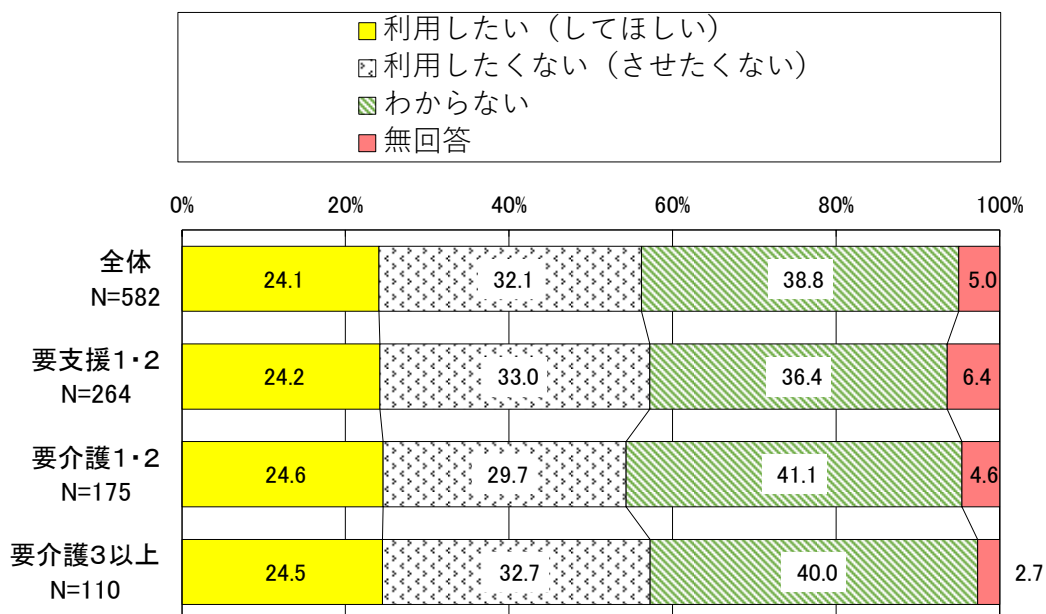
- 前問で「地域包括支援センター」を利用したことが「ある」と回答した人に、その満足度を尋ねたところ、「満足」「ほぼ満足」と回答した人の割合は全体の90.7%、「やや不満」「不満」と回答した人は7.7%となっています。

(18) あなたは「成年後見制度」を知っていますか。(1つに○)



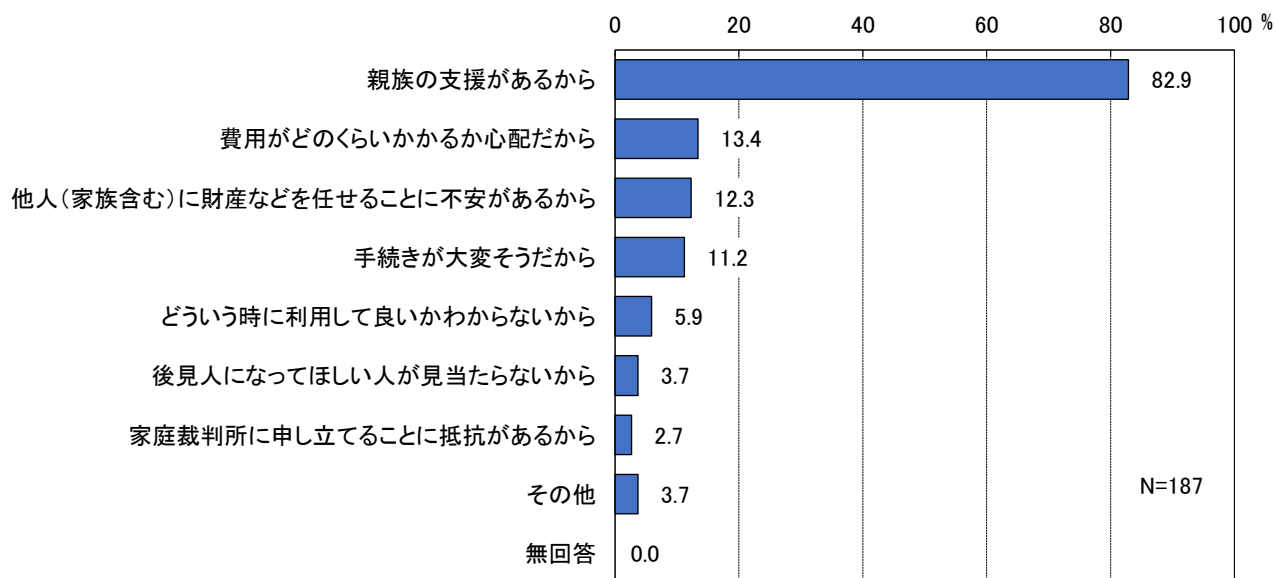
- 成年後見制度の「内容を知っている」と回答した人の割合は全体の34.4%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した人は43.3%となっています。

(19) あなた自身やあなたの家族などが認知症などで判断が十分にできなくなったとき、「成年後見制度」を利用したい(してほしい)ですか。(1つに○)



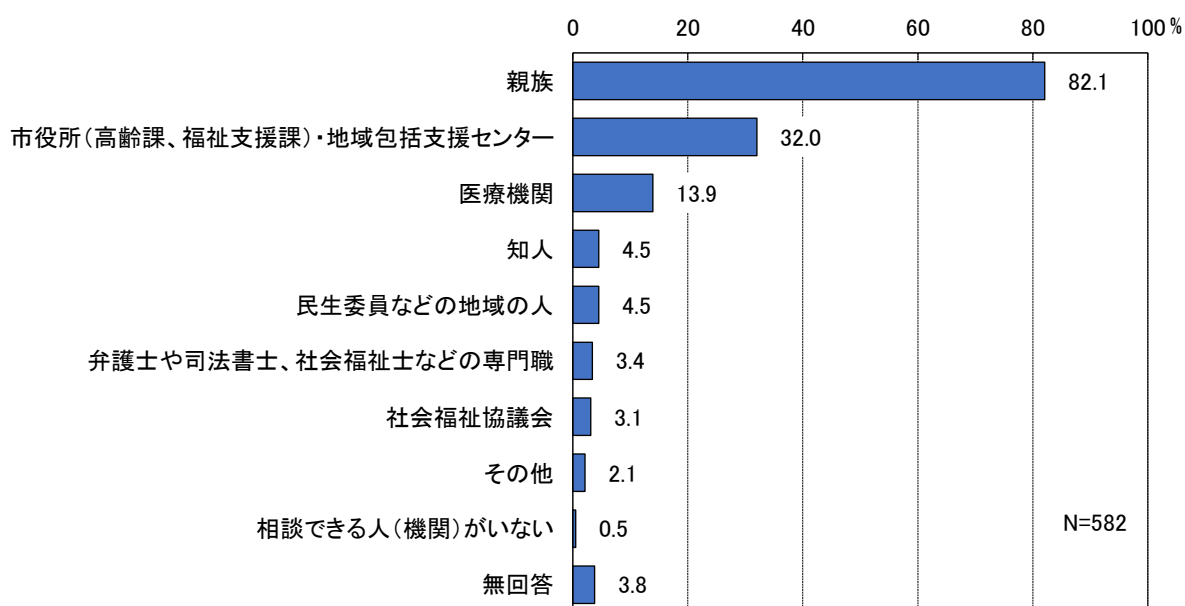
- 認知症などで判断が十分にできなくなったとき、成年後見制度を「利用したい(してほしい)」と回答した人の割合は全体の24.1%で、「利用したくない(させたくない)」と回答した人の割合(32.1%)を8.0ポイント下回っています。

(19) -1 「2. 利用したくない(させたくない)」と答えた方にお聞きします。
その理由はなぜですか。



- 前問で成年後見制度を「利用したくない(させたくない)」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「親族の支援があるから」という回答が82.9%と圧倒的に多く、以下、「費用がどのくらいかかるか心配だから」(13.4%)、「他人(家族含む)に財産などを任せることに不安があるから」(12.3%)、「手続きが大変そうだから」(11.2%)と続いています。

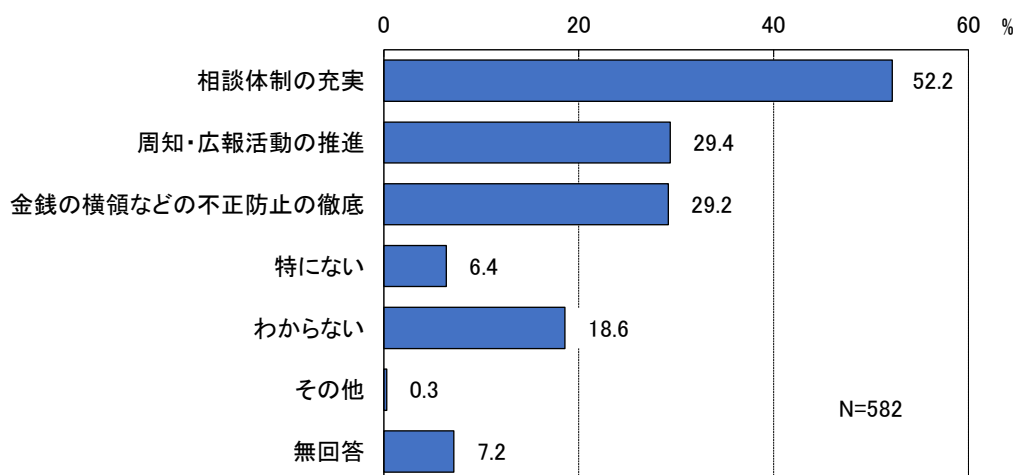
(20) 判断能力に不安を感じたとき、だれ(どの機関)に相談したいですか。(〇は2つまで)



- 判断能力に不安を感じたときに相談したい相手としては、「親族」が82.1%と圧倒的に多く、「市役所(高齢課、福祉支援課)・地域包括支援センター」が32.0%で、それに続いています。

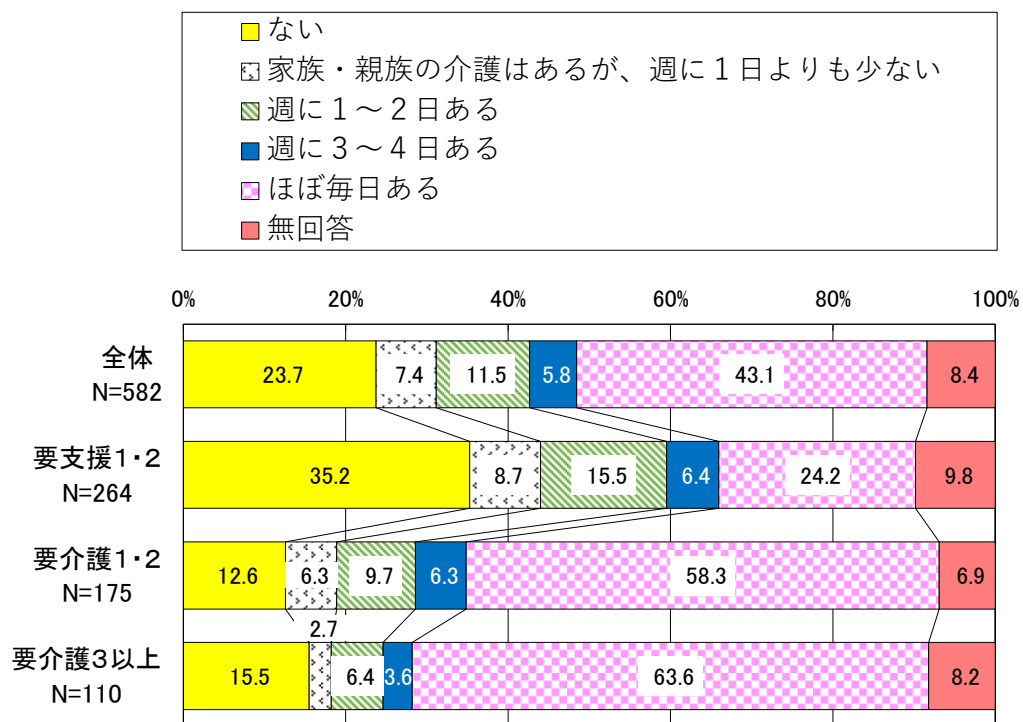
(21) 今後、高齢化がますます進展するにつれて、認知症高齢者も増加することが予想されています。認知症などにより意思決定や判断に支援が必要になった場合に、適切に成年後見制度やその他関連するサービスを利用できる体制をつくることが重要となります。

成年後見制度やその他関連するサービスの利用促進・充実を図っていくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)



- 成年後見制度やその他関連するサービスの利用促進・充実を図っていくために必要だと思うことについては、「相談体制の充実」という回答が 52.2%と最も多く、以下、「周知・広報活動の推進」(29.4%)、「金銭の横領など不正防止の徹底」(29.2%)と続いています。

(22) ご家族やご親族からの介護は、週にどれくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含みます）。（1つに〇）

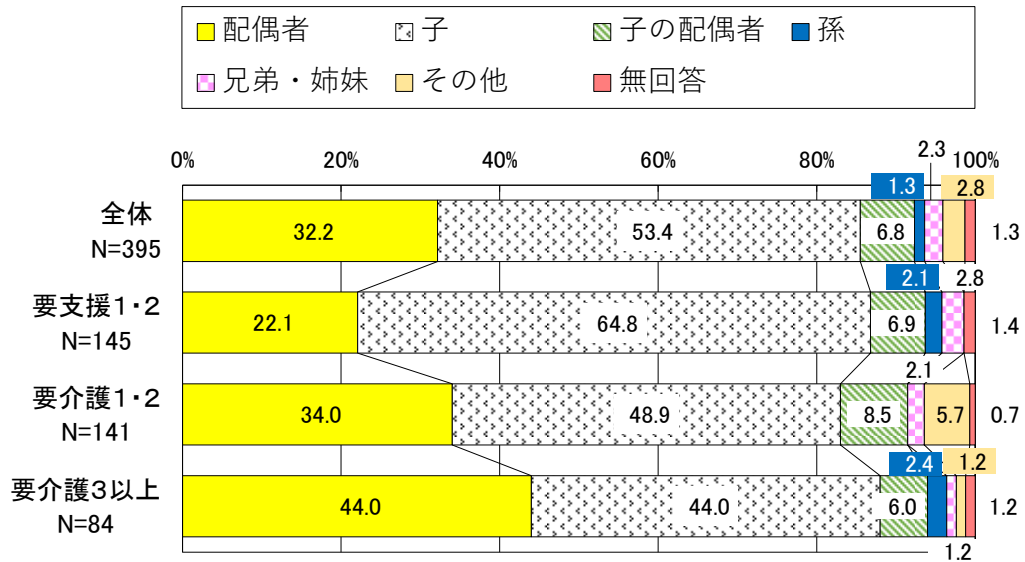


- 家族や親族からの介護は、要介護度が高くなるにつれてその頻度も高くなっており、「要介護3以上」では63.6%が「ほぼ毎日ある」と回答しています。

主な介護者について

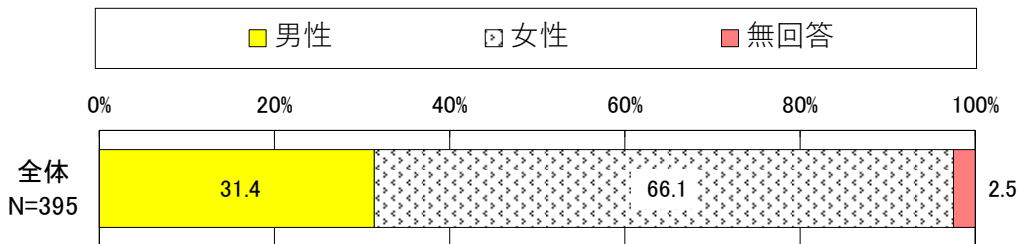
※（２２）で「２．家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない」、「３．週に１～２日ある」、「４．週に３～４日ある」、「５．ほぼ毎日ある」と回答した方のみにお聞きします。

（２３）主な介護者は、どなたですか（１つに○）



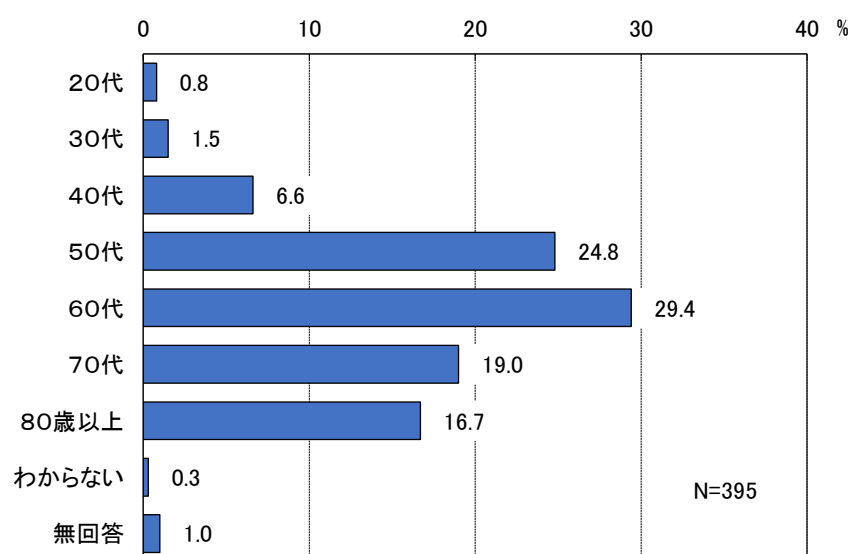
- 主な介護者は、「子」が全体の53.4%と最も多く、「配偶者」(32.2%)がそれに続いています。
- 要介護度別に見ると、要介護度が高くなるにつれて「配偶者」の割合が高くなり、「要介護3以上」では「子」と同じ割合となっています。

（２４）主な介護者の性別について、ご回答ください（１つに○）



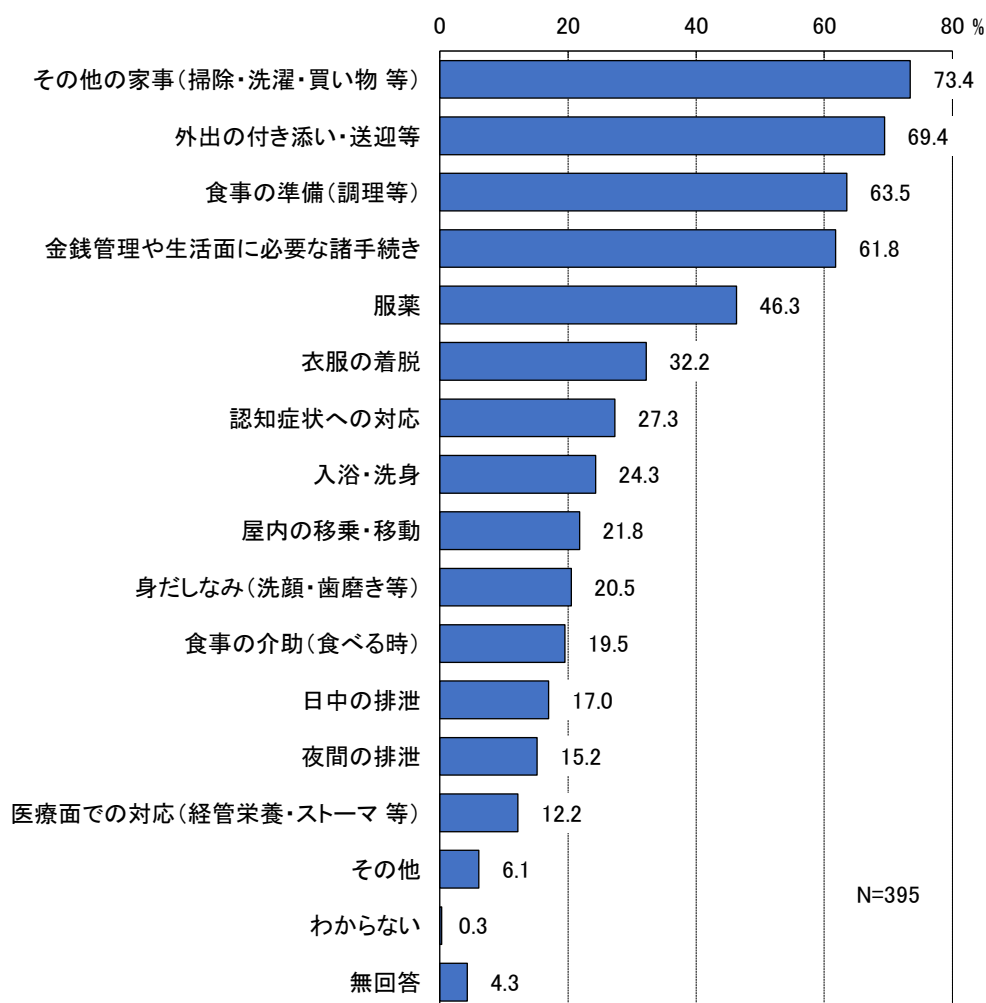
- 主な介護者の性別については、「女性」が全体の66.1%を占めています。

(25) 主な介護者の年齢について、ご回答ください（1つに○）



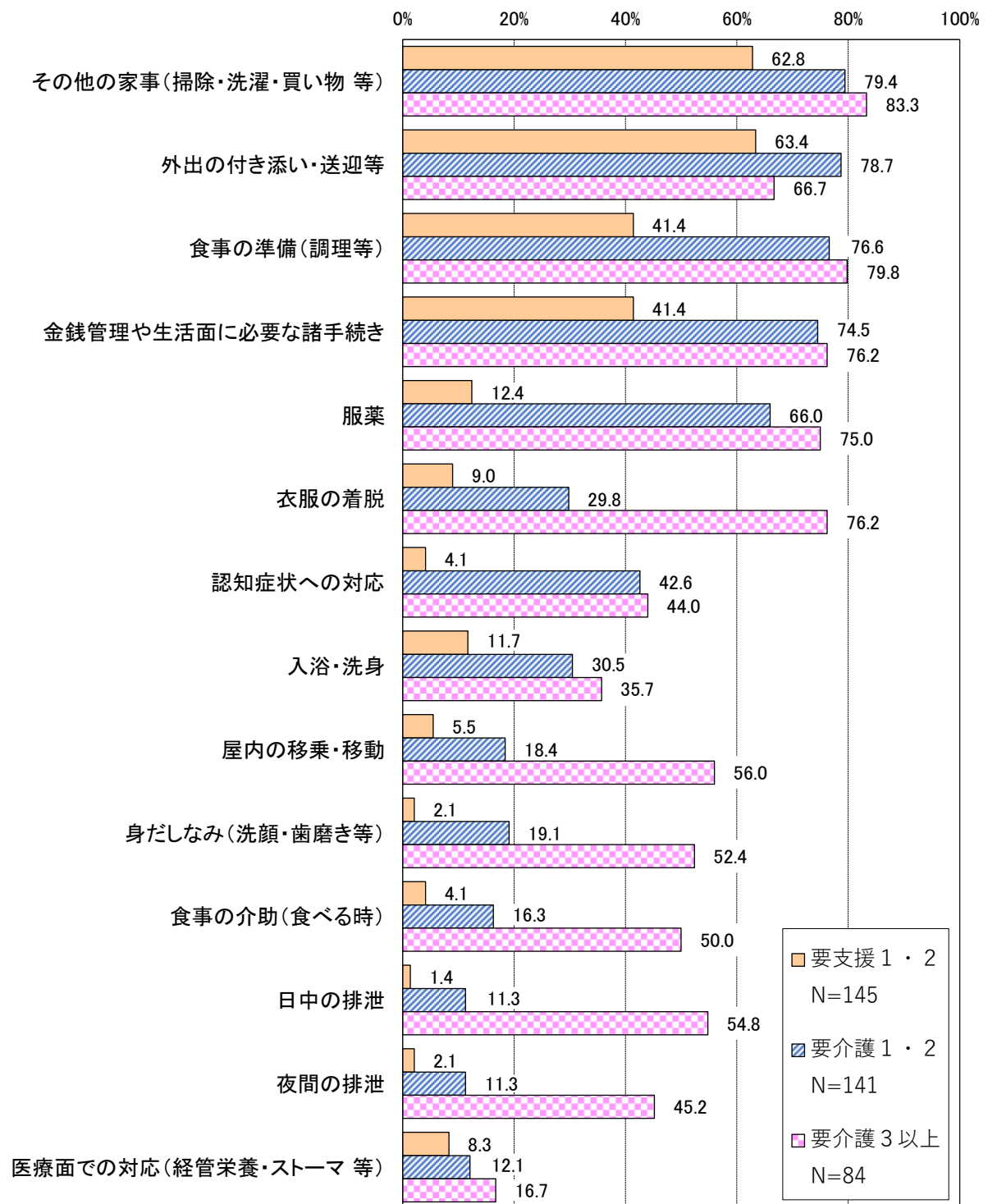
- 主な介護者の年齢については、「60代」が全体の29.4%と最も多く、以下、「50代」（24.8%）、「70代」（19.0%）と続いています。

(26) 現在、主な介護者がしている介護等について、ご回答ください (〇はいくつでも可)

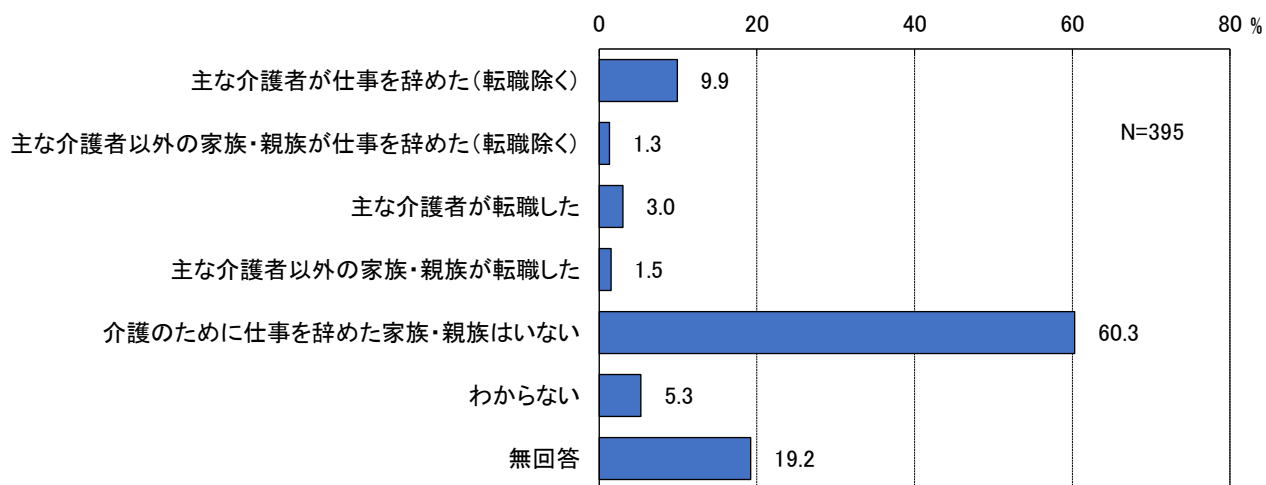


- 現在、主な介護者の方が行っている介護等については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（73.4%）を筆頭に、「外出の付き添い、送迎等」（69.4%）、「食事の準備（調理等）」（63.5%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（61.8%）、「服薬」（46.3%）が上位にあがっています。
- 本人の要介護度別に見ると、「要介護度3以上」は全体の上位5項目以外についてもほとんどの項目で5割前後の高い回答割合となっています（次ページ参照）。

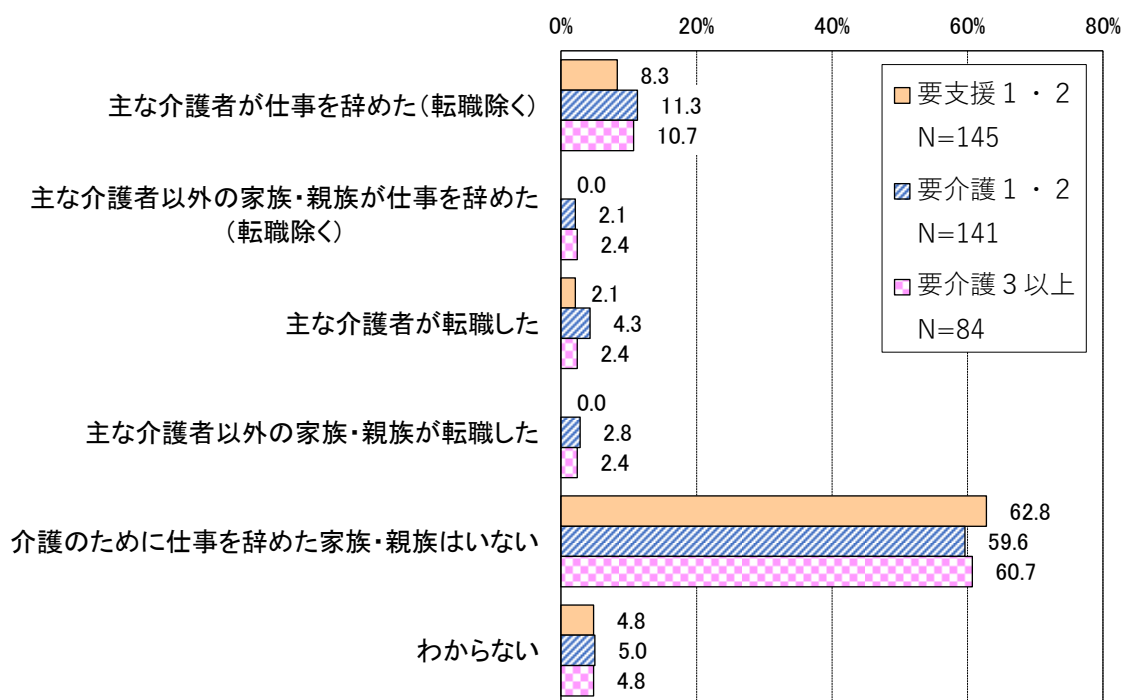
主な介護者の方が行っている介護等（本人の要介護度別クロス集計結果）



(27) ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方も含みます）。（〇はいくつでも可）

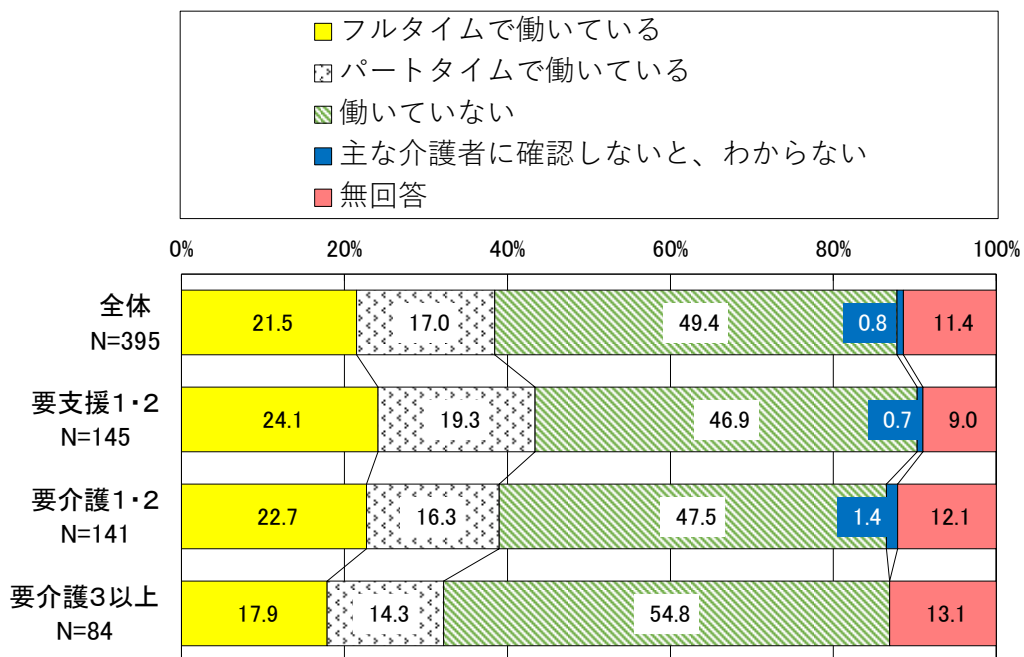


本人の要介護度別クロス集計結果



- 介護を主な理由として、過去1年の間に「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」と回答した人の割合は全体の9.9%となっています。
- 本人の要介護度別に見ても、あまり大きな違いは認められませんでした。

(28) 主な介護者の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つに〇）

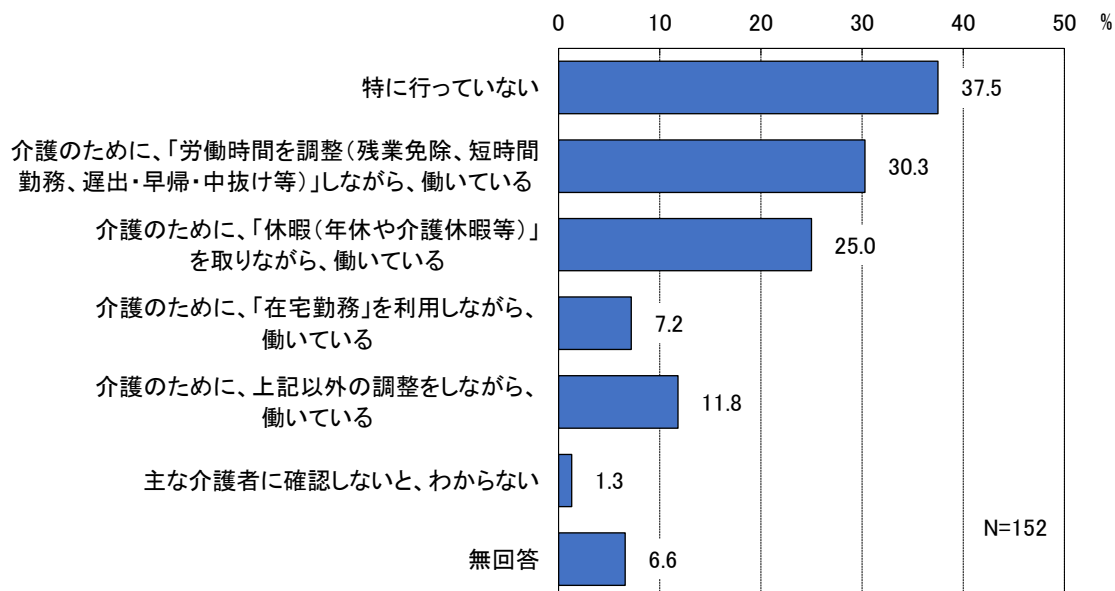


- 主な介護者のうち「働いていない」と回答した人の割合は全体の 49.4%で、「フルタイムで働いている」が 21.5%、「パートタイムで働いている」が 17.0%となっています。
- 本人の要介護度別に見ると、要介護度が高くなるにつれて、「働いていない」の割合が高くなっています。

(28) -1 「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と答えた方にお聞きします。

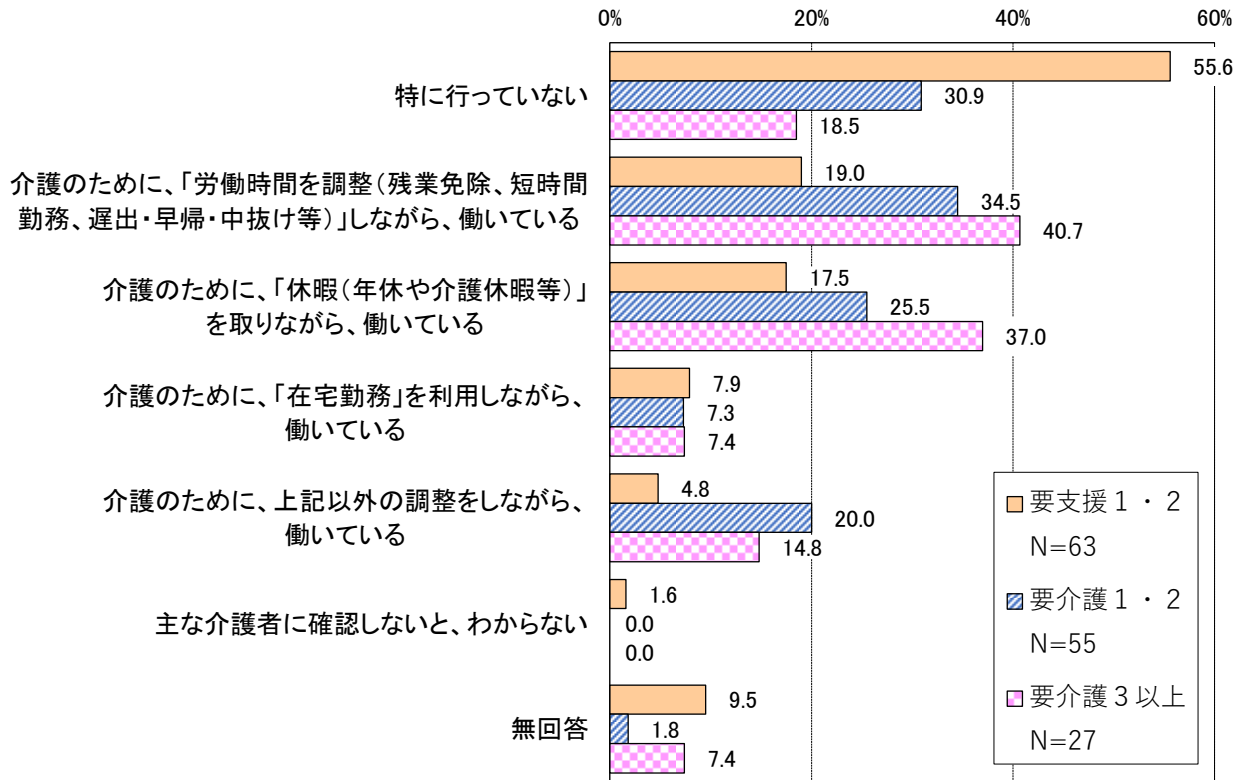
主な介護者は、介護をするにあたって、何か働き方の調整等をしていますか。

(〇はいくつでも可)

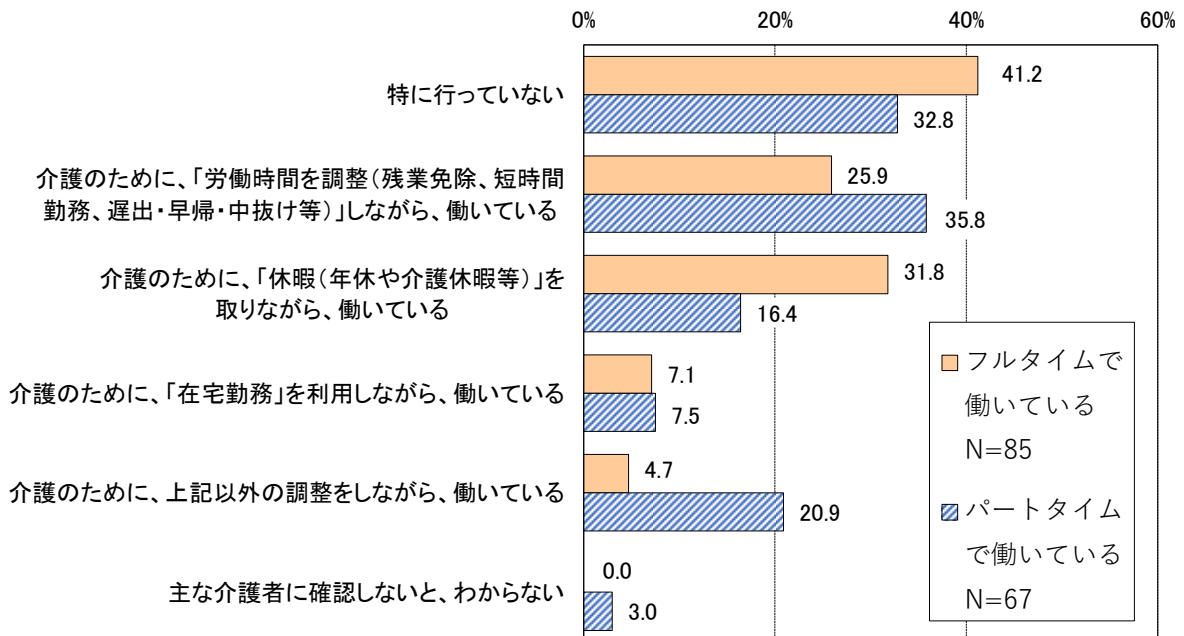


- 介護をするにあたって、働き方についての調整等を「特に行っていない」と回答した人の割合は全体の37.5%となっており、何らかの調整等を行っているとは回答した人の方が55.9%と、やや高い割合となっています。
- 本人の要介護度別に見ると、働き方についての調整等を「特に行っていない」と回答した人の割合が最も高かったのは「要支援1・2」となっています(次ページ参照)。
- 主な介護者の勤務形態別に見ると、「パートタイムで働いている」人より「フルタイムで働いている」人の方が、「特に行っていない」と回答した人の割合が高くなっています(次ページ参照)。

主な介護者の働き方の調整（本人の要介護度別クロス集計結果）

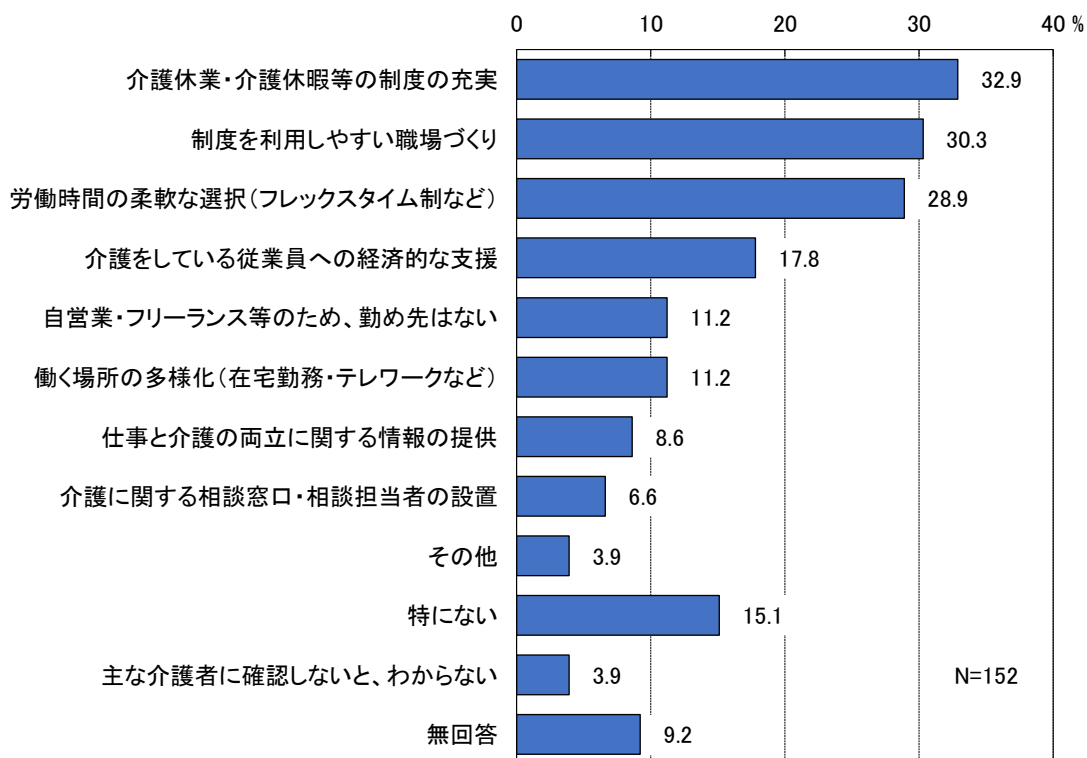


主な介護者の働き方の調整（勤務形態別クロス集計結果）



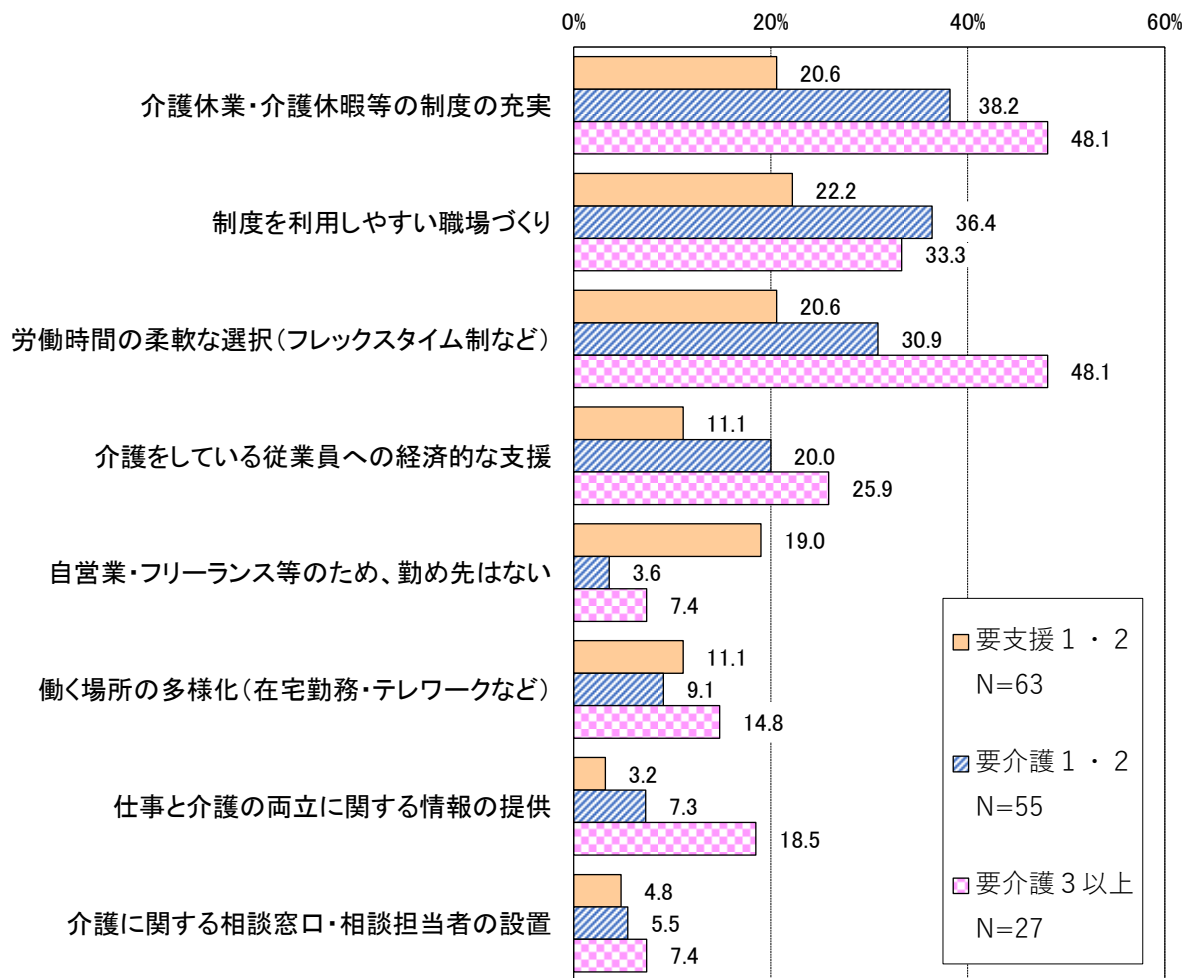
(28) -2 「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と答えた方にお聞きします。

主な介護者は、勤め先からどのような支援があれば仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

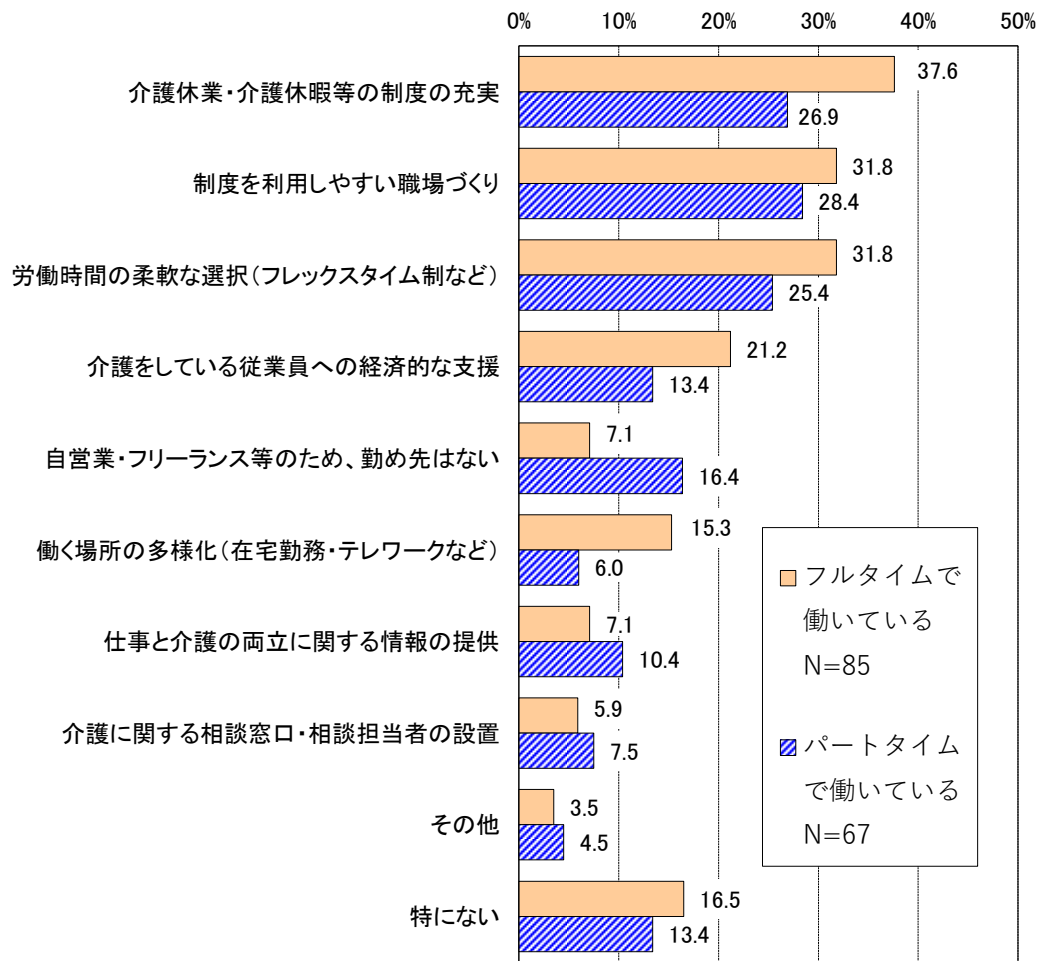


- 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 32.9%と最も回答割合が高く、以下、「制度を利用しやすい職場づくり」(30.3%)、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(28.9%)と続いています。
- 本人の要介護度別に見ると、「要介護3以上」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」と同率で「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(48.1%)があがっており、「制度を利用しやすい職場づくり」よりも高い割合となっています(次ページ参照)。
- 主な介護者の勤務形態別に見ると、「フルタイムで働いている」人は「パートタイムで働いている」人に比べ、「働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)」と回答した人の割合(15.3%)が高くなっています(次々ページ参照)。

仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援（要介護度別クロス集計結果）

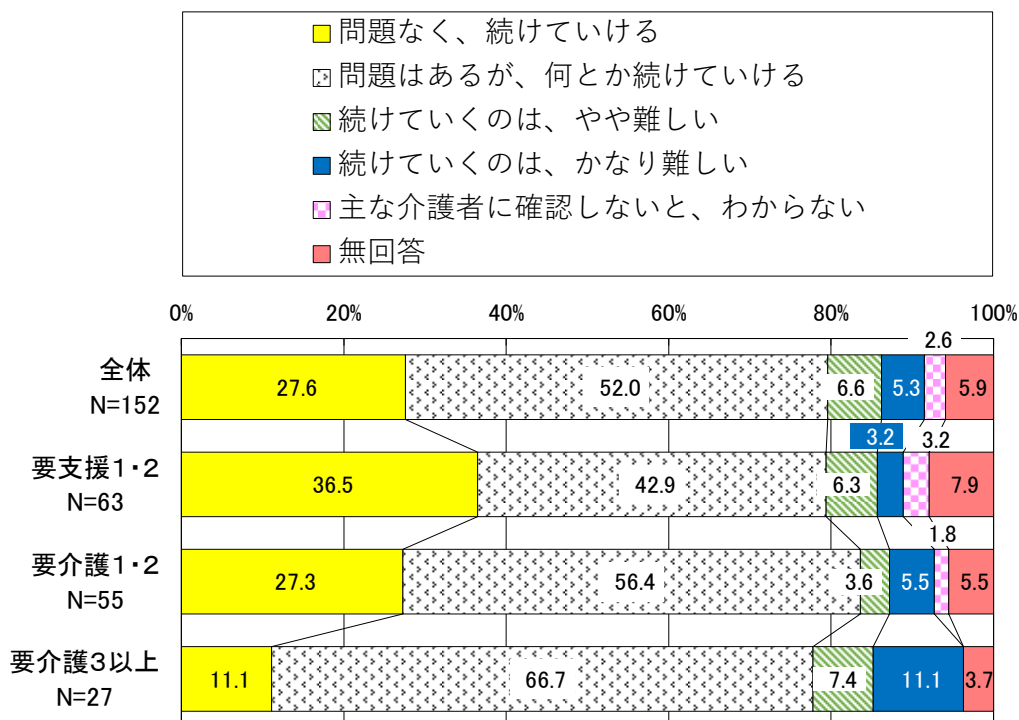


仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援（勤務形態別クロス集計結果）



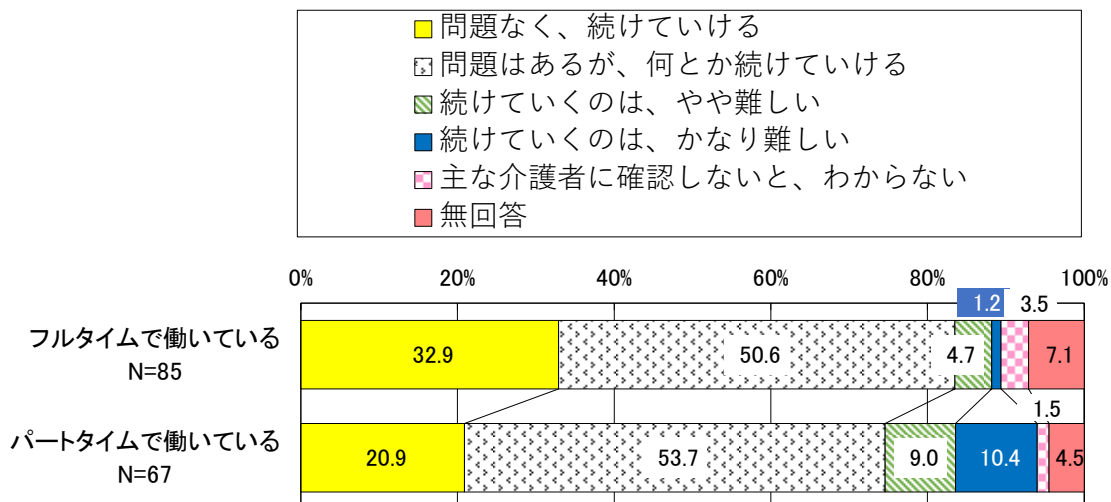
(28) -3 「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と答えた方にお聞きします。

主な介護者は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つに○)

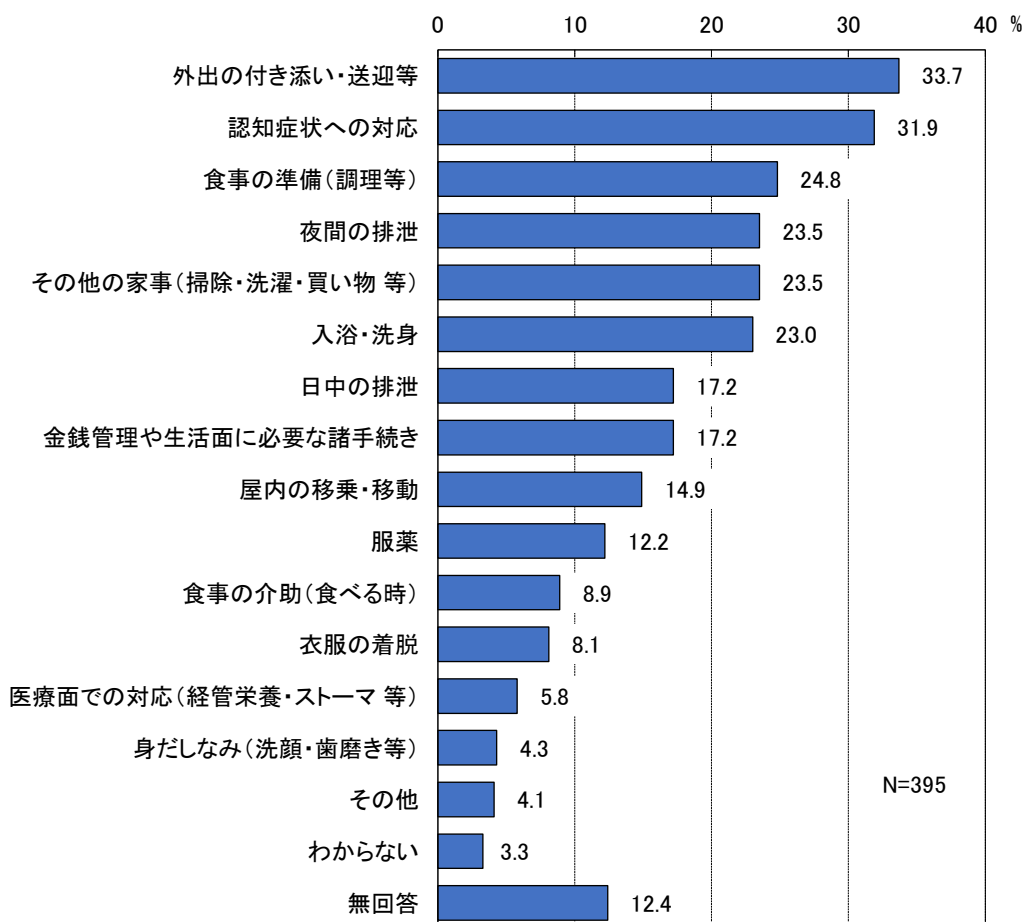


- 主な介護者の方に、今後も働きながら介護を続けていけそうかどうか尋ねたところ、「続けていくのは、やや難しい」(6.6%)、「続けていくのは、かなり難しい」(5.3%)と回答した人の割合は合わせて全体の11.9%となっています。
- 「フルタイム」と「パートタイム」を比較すると、「続けていくのは、かなり難しい」という回答割合は「フルタイム」(1.2%)より「パートタイム」(10.4%)の方が高い割合となっています(下図参照)。

勤務形態別クロス集計結果

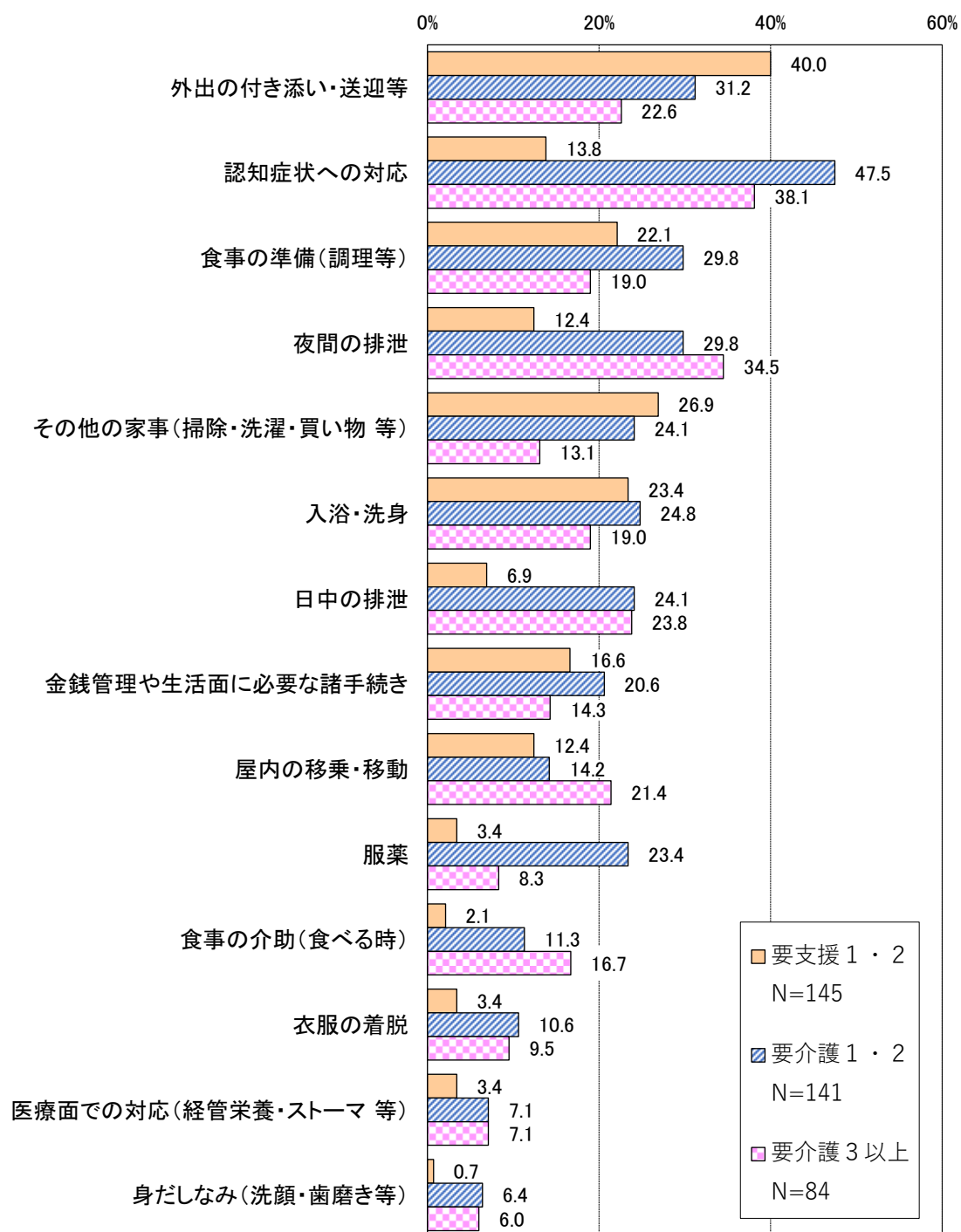


(29) 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（〇は3つまで）

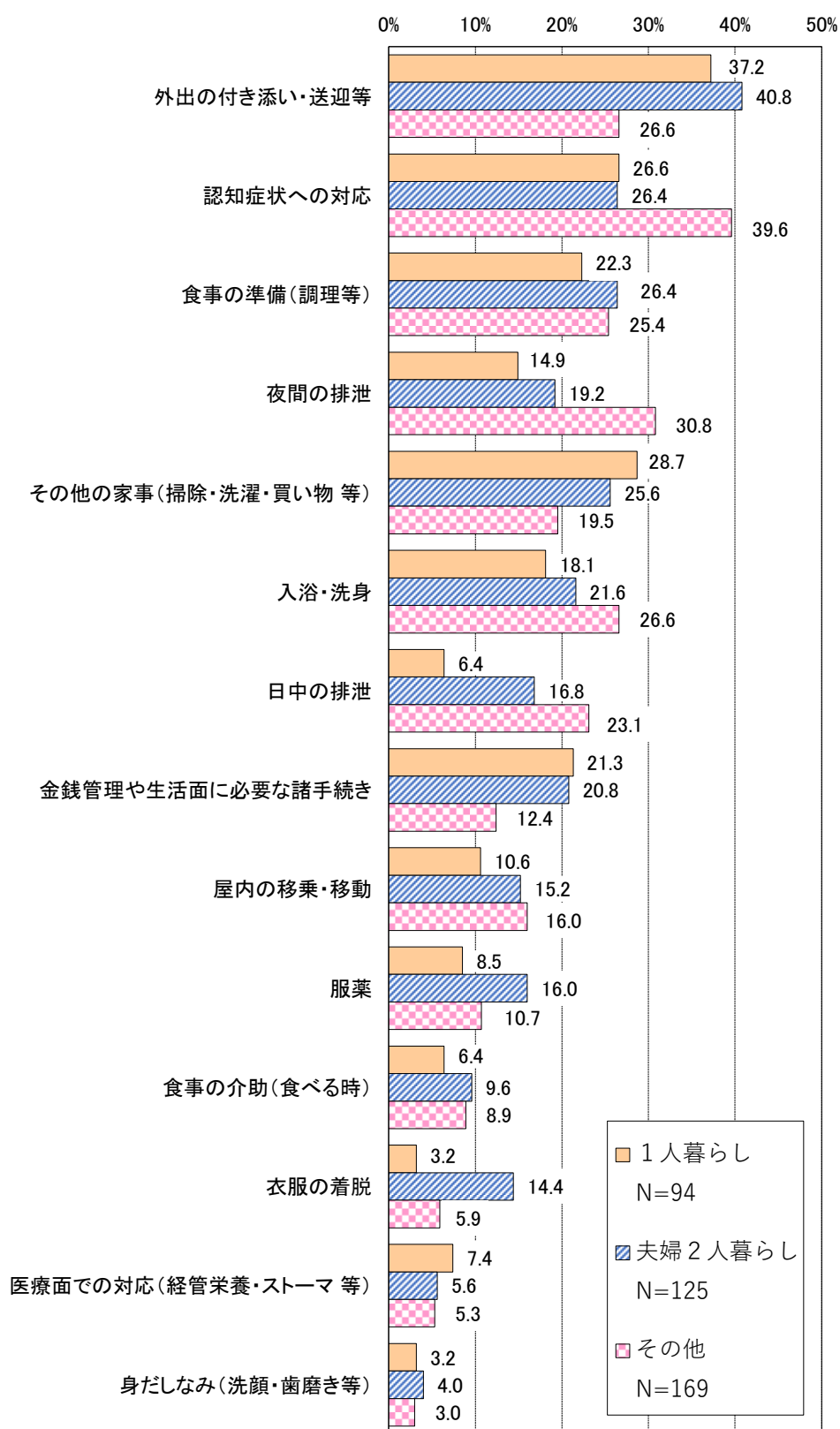


- 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等については、「外出の付き添い、送迎等」(33.7%)と「認知症状への対応」(31.9%)が高い回答割合となっており、以下、「食事の準備(調理等)」(24.8%)や、「夜間の排泄」や「その他の家事(掃除・洗濯・買い物等)」(ともに23.5%)、「入浴・洗身」(23.0%)と続いています。
- 要介護度別に見ると、要介護1以上では「認知症状への対応」が最も高い回答割合となっていますが、要支援では「外出の付き添い、送迎等」(40.0%)が特に高い割合となっています(次ページ参照)。
- 世帯類型別に見ると、「その他」の世帯では「認知症状への対応」(39.6%)が最も高い回答割合となっていますが、「1人暮らし」「夫婦2人暮らし」では「外出の付き添い、送迎等」が最も高い割合となっています(次々ページ参照)。

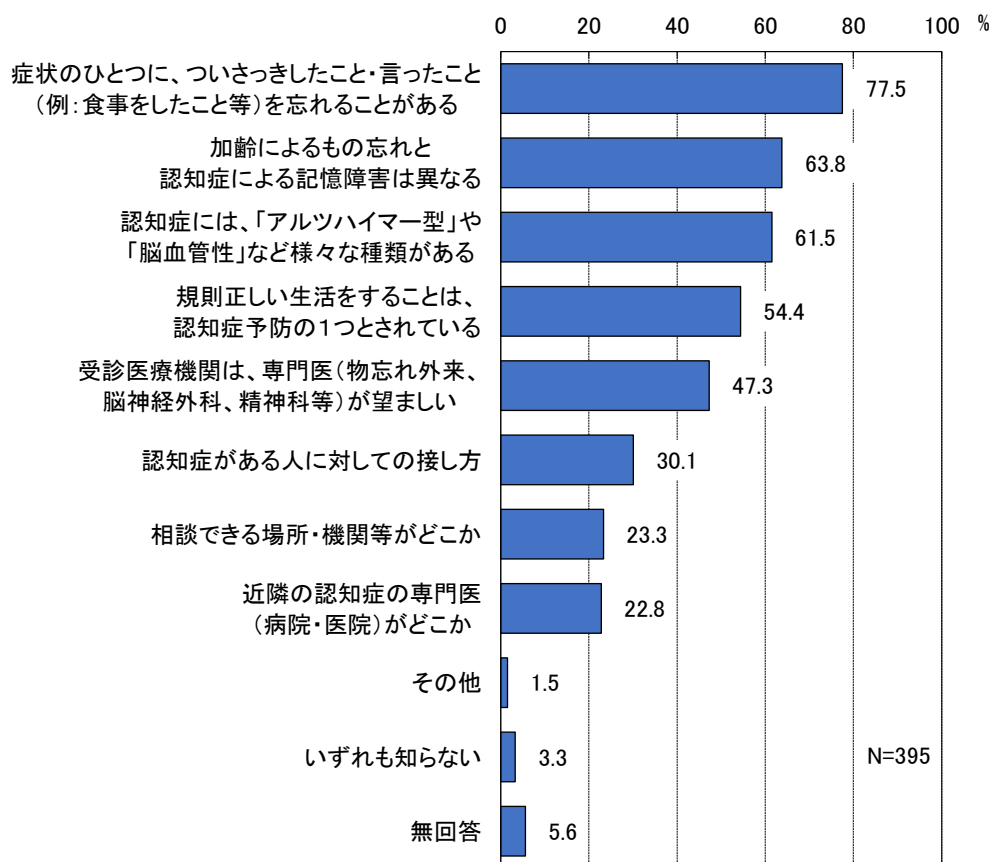
主な介護者の方が不安に感じる介護等（本人の要介護度別クロス集計結果）



主な介護者の方が不安に感じる介護等（世帯類型別クロス集計結果）

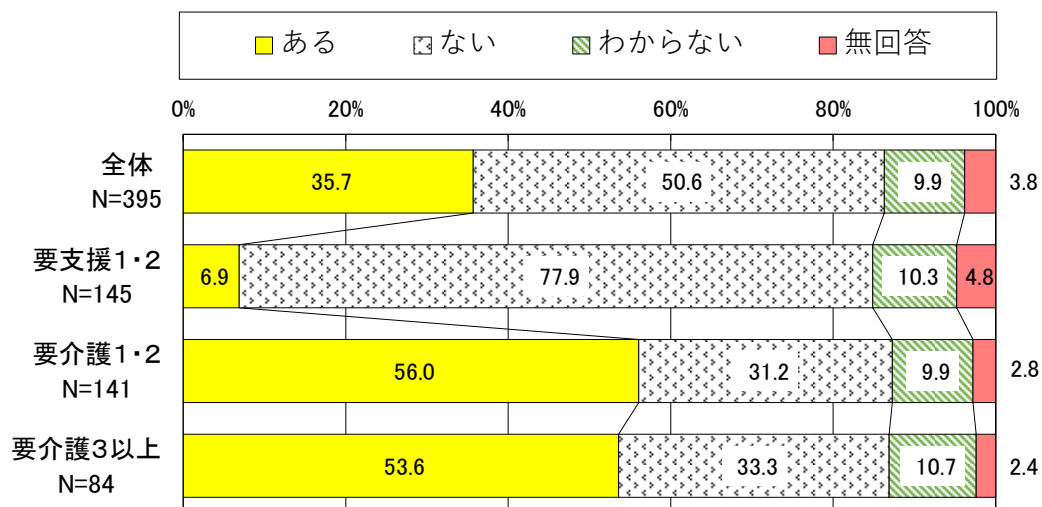


(30) 認知症に関して次のようなことを知っていますか。(〇はいくつでも可)



- 認知症に関する事柄のうち、認知度が最も高かったのは「症状のひとつに、ついさっきしたこと・言ったことを忘れることがある」で77.5%、以下「加齢によるもの忘れと認知症による記憶障害は異なる」(63.8%)、「認知症には、「アルツハイマー型」や「脳血管性」など様々な種類がある」(61.5%)、「規則正しい生活をすることは、認知症予防の1つとされている」(54.4%)、「受診医療機関は、専門医(物忘れ外来、脳神経外科、精神科等)が望ましい」(47.3%)と続いています。

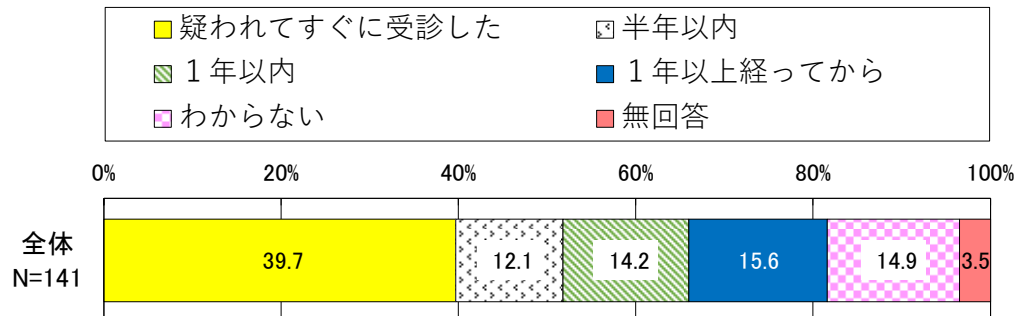
(31) ご本人（調査対象者）に認知症がありますか。（1つに○）



- 本人（調査対象者）に認知症が「ある」と回答した人の割合は、全体の35.7%となっています。
- 要介護別に見ると、要介護1以上では半数以上に認知症があることがわかります。

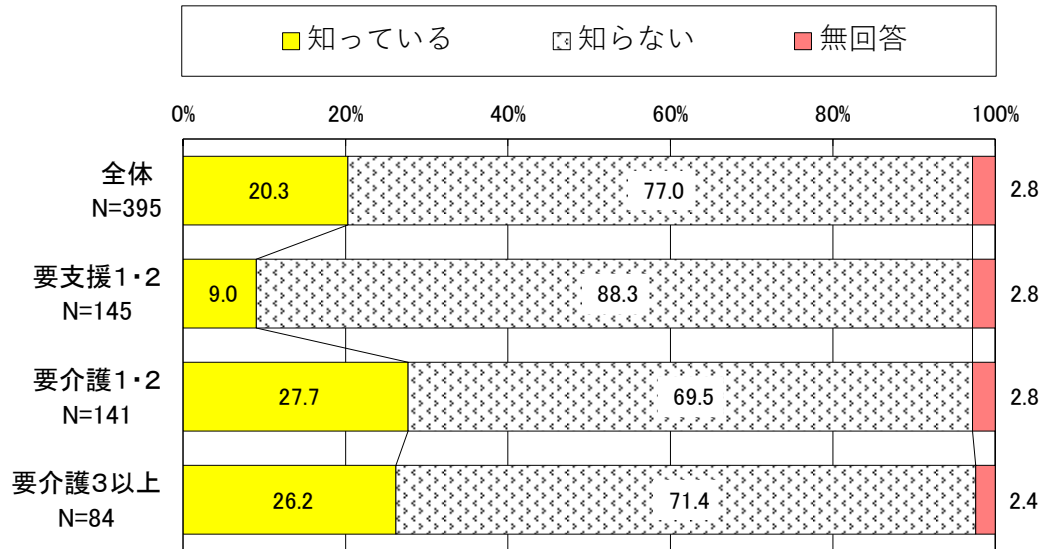
(31) -1 「1. あり」と答えた方にお聞きします。

認知症が疑われてから、初回の受診までどれくらいの期間がありましたか。（1つに○）



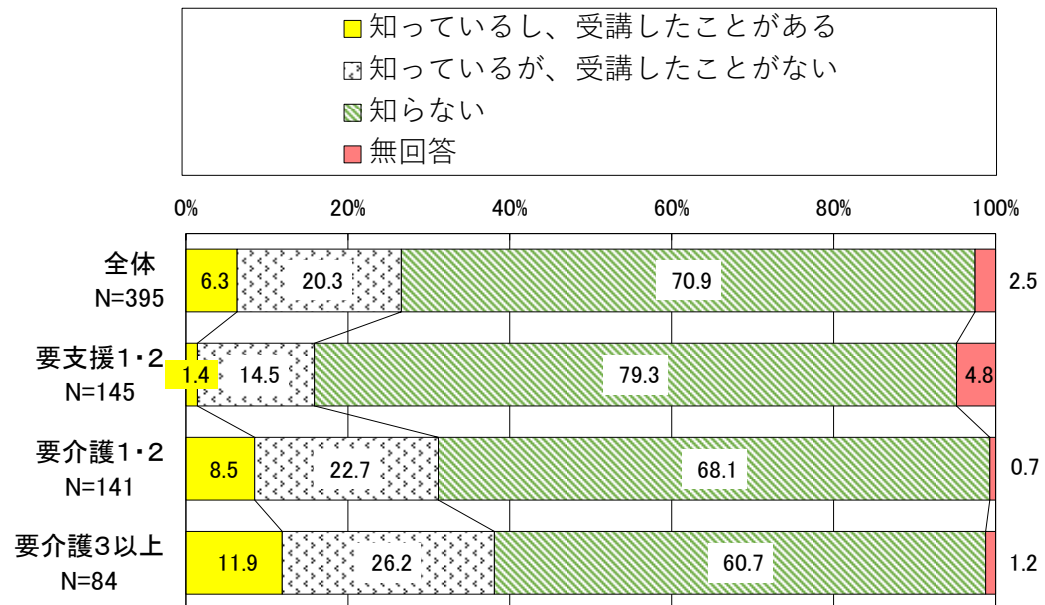
- 前問で本人（調査対象者）に認知症が「あり」と回答した人に、認知症が疑われてから、初回の受診までの期間を尋ねたところ、「疑われてすぐに受診した」と回答した人が39.7%と最も多くなっていますが、「1年以上経ってから」と回答した人も15.6%と、それに次ぐ回答割合となっています。

(32) 春日市には、認知症がある高齢者等が行方不明になることに備えて、緊急連絡先及び写真等を登録する「認知症高齢者等事前登録制度」があります。緊急連絡先や写真等を登録し、本人特定の手がかりになる登録番号付のシール（見守りオレンジシール）を交付しています。この制度を知っていますか。（1つに○）



- 「認知症高齢者等事前登録制度」について「知っている」と回答した人の割合は全体の 20.3%で、本人が「要支援1・2」の人は9.0%と低い割合となっています。

(33) 「認知症サポーター養成講座」について知っていますか。（1つに○）



- 「認知症サポーター養成講座」については、「知らない」と回答した人の割合が70.9%と高く、「知っているし、受講したことがある」と回答した人の割合は全体の6.3%にとどまっています。

春日市在宅介護実態調査結果報告書

令和5年4月

発行 福岡県春日市
企画・編集 春日市地域共生部高齢課

〒816-8501 福岡県春日市原町 3-1-5
TEL (092) 584-1111 (代)
FAX (092) 584-1142 (代)
